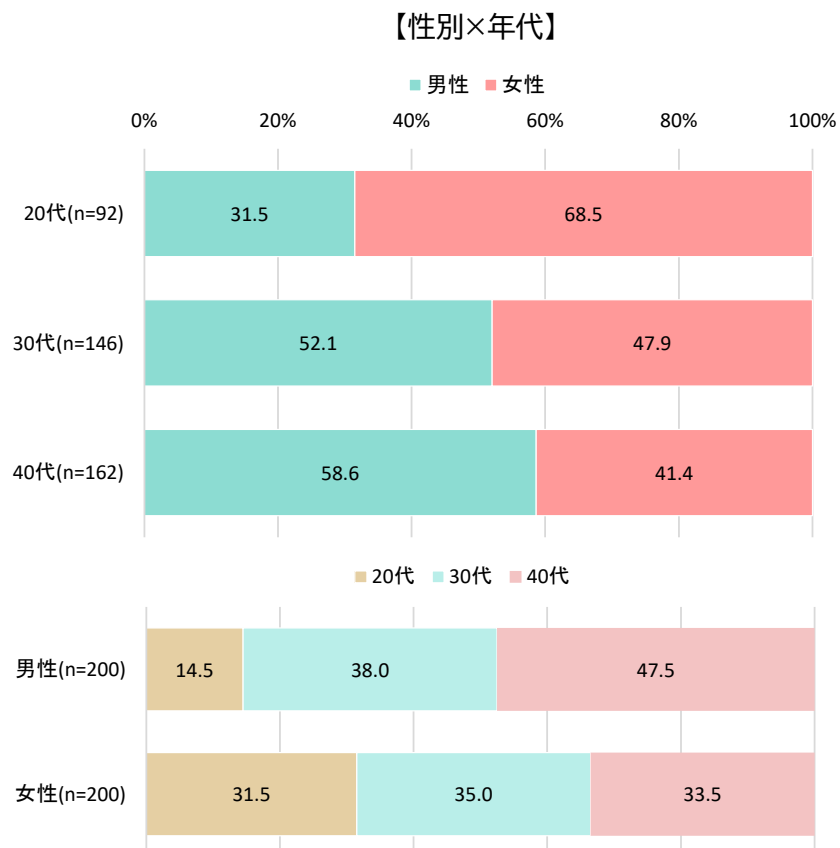
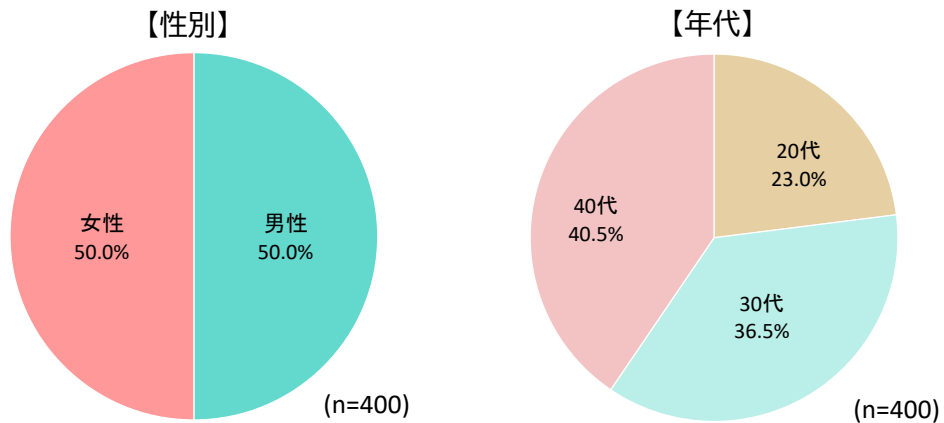


2. 調査結果① [全体および性別/年代/性年代別]

(1)対象者自身について

可能な限り男女比、年代比が等分となるよう対象者をサンプリングしたため、性別・年代別の割合は以下のとおりとなっている。



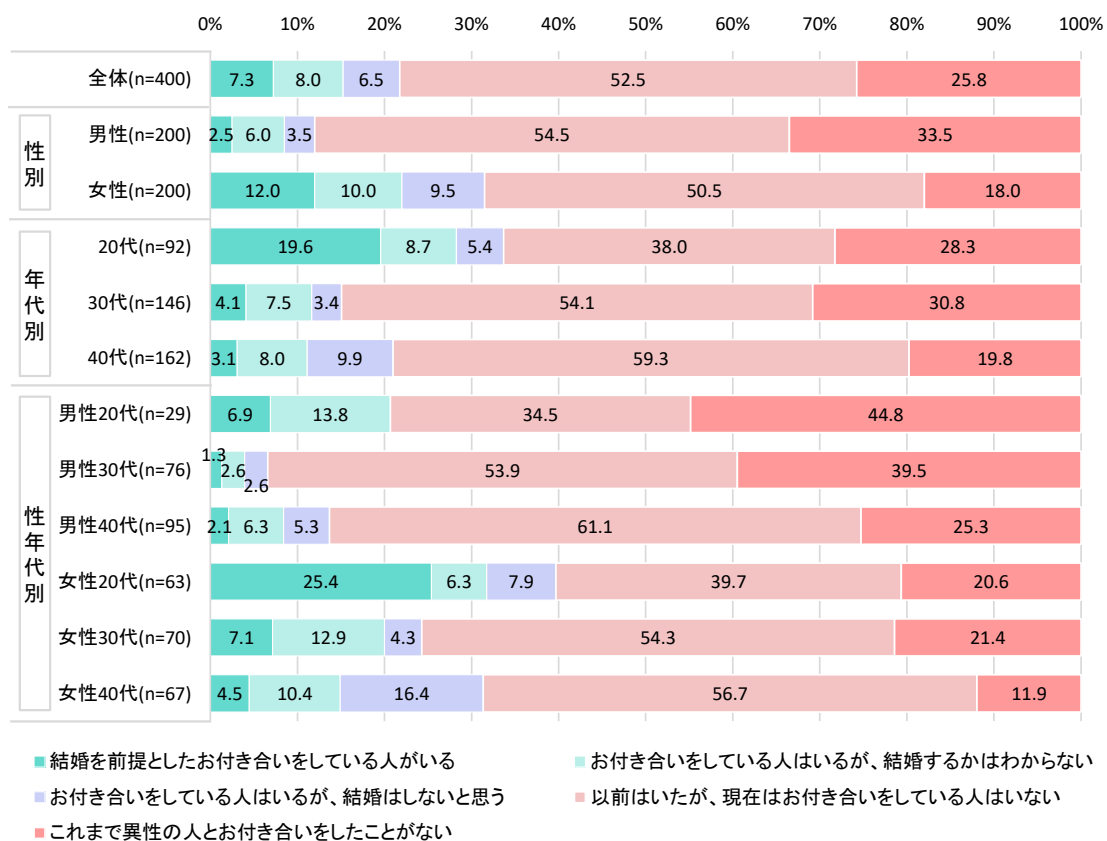
(2) 恋人との交際について

あなたは現在、お付き合いしている方がいますか。

現在交際相手がいるかについて聞いたところ、全体では「以前はいたが現在はいない」が52.5%と最も多く、「これまで交際経験がない」が25.8%で続いており、78.3%が「交際している異性はいない」としている。

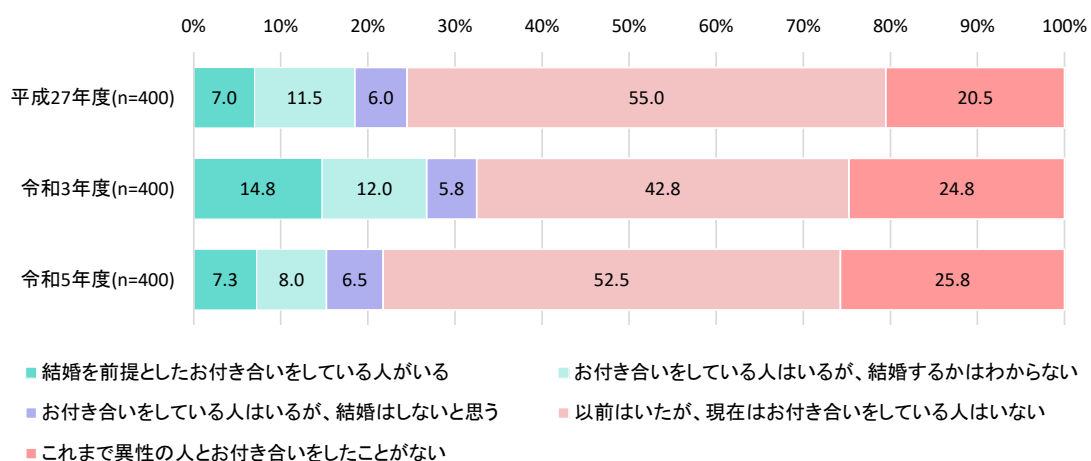
男女別で見ると、「交際している異性がない」男性は88.0%、女性は68.5%となっており、男性の方が約20ポイント高くなっている。

年代別で見ると、いずれの年代も「以前はいたが現在はいない」という回答が最も多い。また、20代では「結婚を前提としたお付き合いをしている人がある」の割合が高く、特に女性20代では4人に1人が「結婚を前提としたお付き合いをしている人がある」と回答している。



過去の調査結果と比較すると、交際相手がいる人の割合は平成27年度から令和3年度にかけて増加しているが、今回の調査では平成27年度よりも低くなっている。

【過去の調査結果との比較】



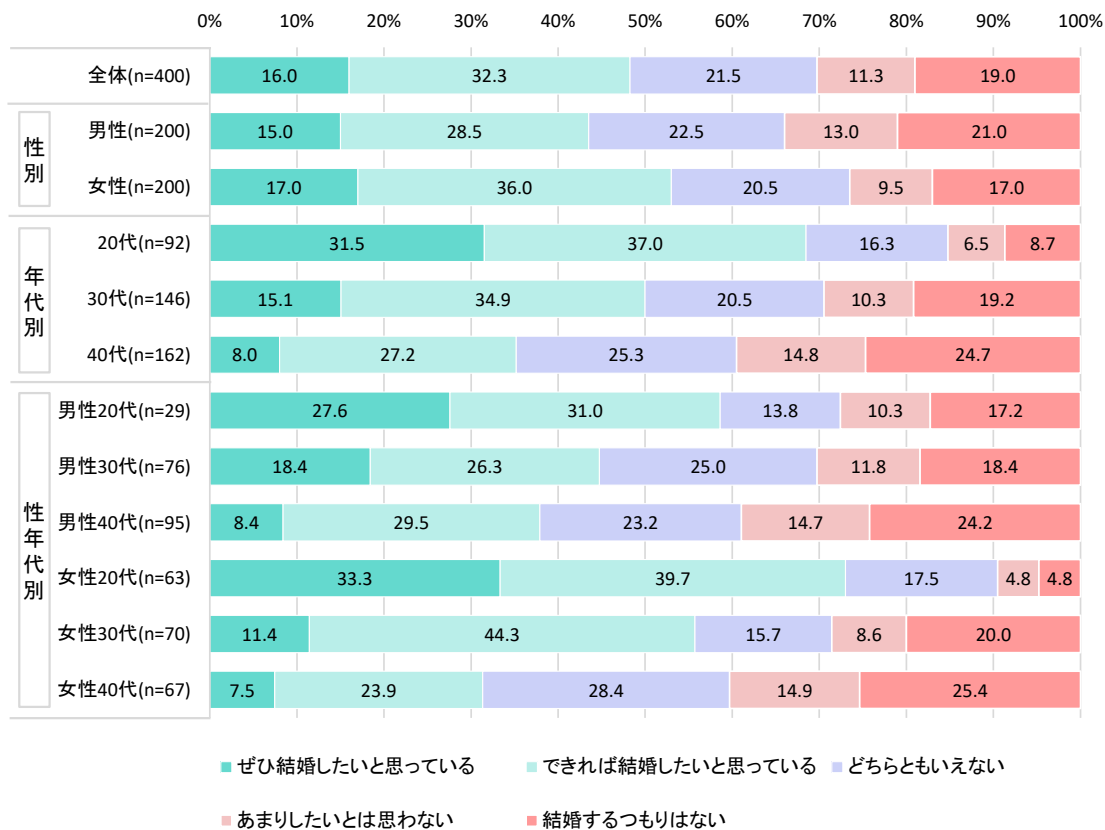
(3)結婚に対する意識について

あなたは、結婚したいと思いますか。

結婚の意向を聞いたところ、全体では「できれば結婚したい」が 32.3%、「ぜひ結婚したい」が 16.0%となっており、48.3%が「結婚したい」と考えている。

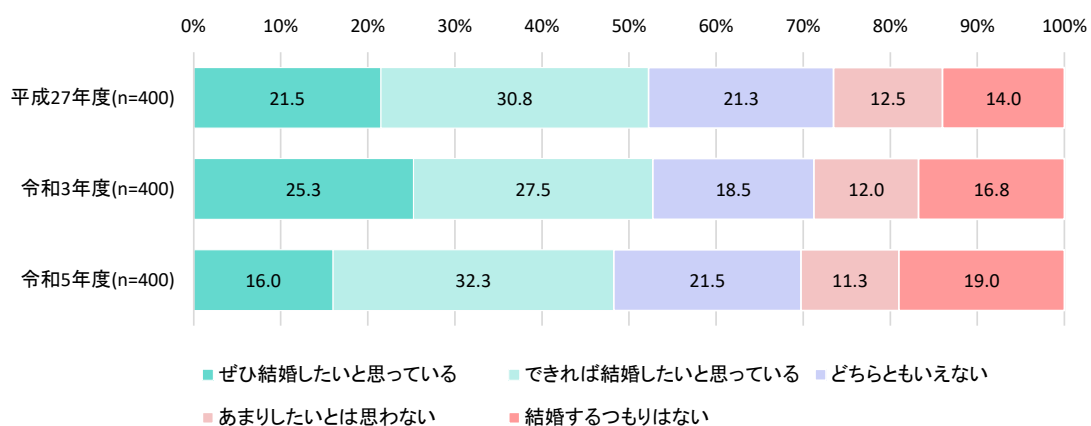
男女別で見ると、「結婚したい」男性は 43.5%、女性は 53%となっており、女性の方が 10ポイント程度高くなっている。

年代別で見ると、年代が上がるにつれて「結婚したい」人の割合は低くなり、「結婚したくない」人の割合が高くなっている。20代では 68.5%の人が「結婚したい」と回答している一方、40代では 35.2%にとどまっている。



過去の調査結果と比較すると、「結婚したい」人の割合が下がり、「結婚したくない」人の割合が上がっており、特に、「ぜひ結婚したい」人の割合が低くなっている。

【過去の調査結果との比較】

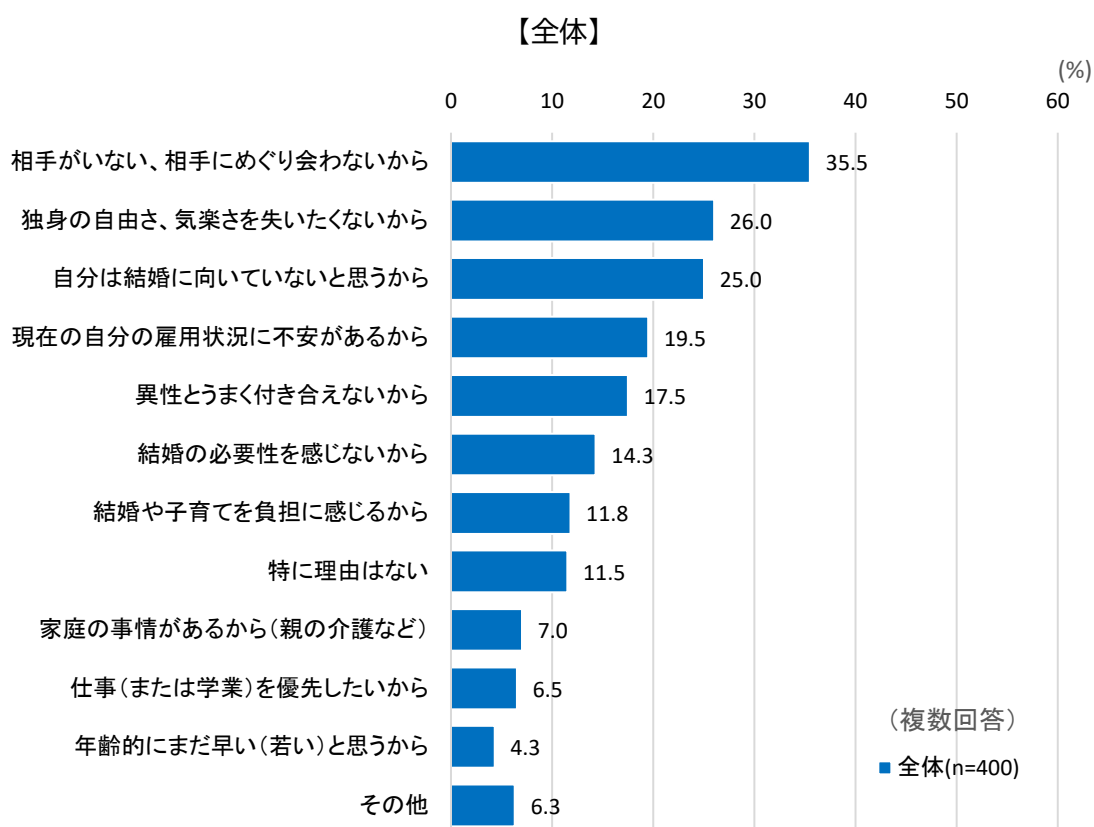


現在、未婚の理由は何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

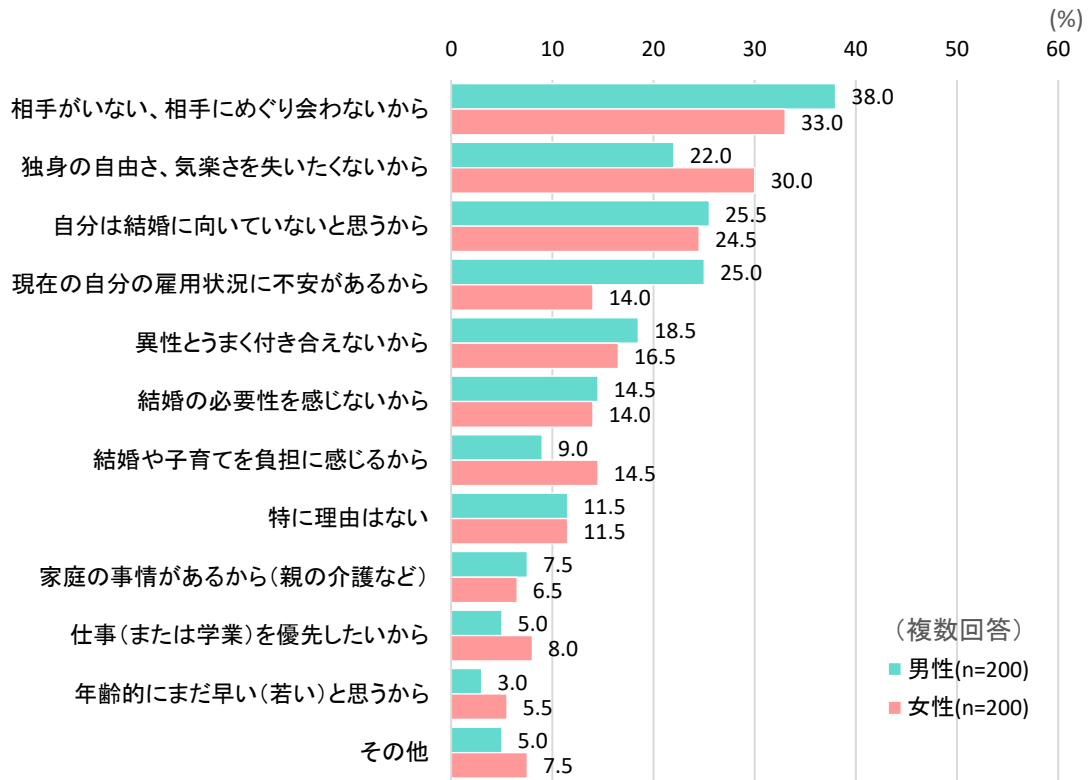
現在結婚していない理由を3つまで聞いたところ、全体では「相手がいない」が35.5%で最も多く、次いで多いのは「独身の自由さを失いたくない」、「自分は結婚には向いていないと思う」で、それぞれ約25%となっている。

男女別で見ると、「相手がいない」、「現在の雇用状況に不安がある」は男性の方が女性よりも高くなっており、特に「現在の雇用状況に不安がある」は男女差が9ポイントと大きくなっている。一方、「独身の自由さを失いたくない」、「結婚や子育てを負担に感じる」は女性の方が男性よりも高くなっており、「独身の自由さを失いたくない」の男女差は8ポイントとなっている。

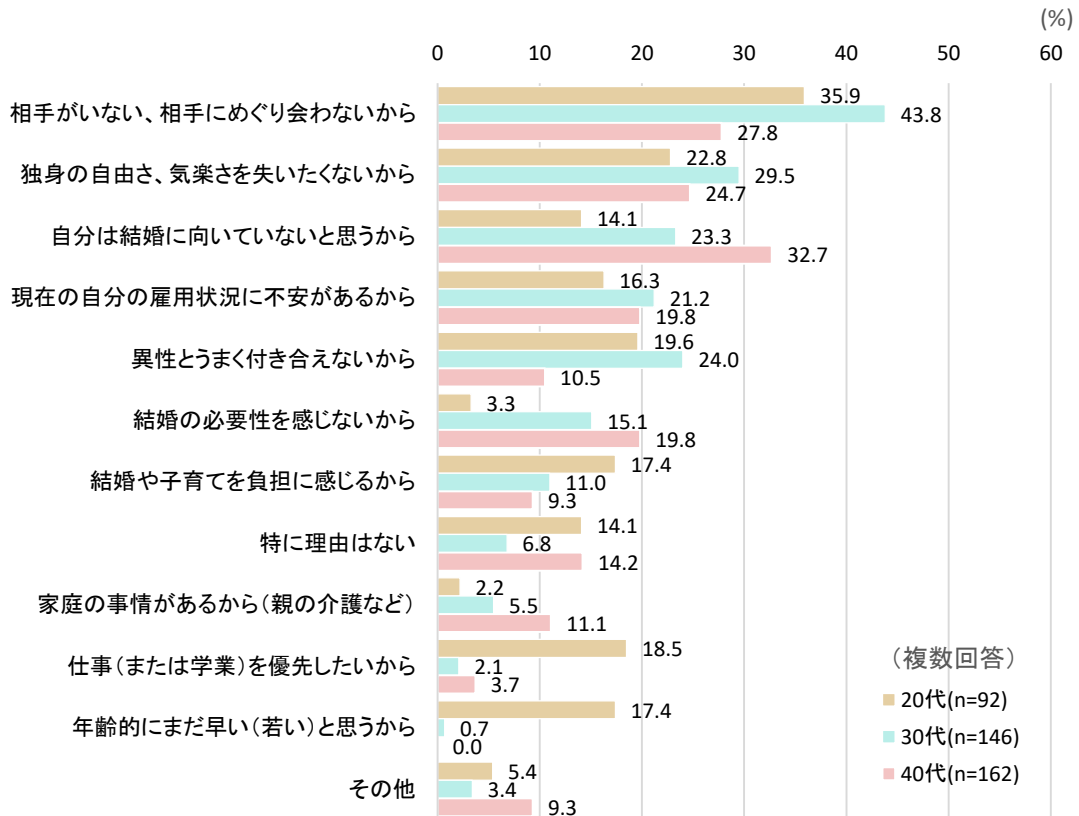
年代別で見ると、20代、30代では男女とも「相手がいない」が最も多いが、40代では男女ともに「自分は結婚に向いていないと思う」が最も多く、40代女性では「独身の自由さを失いたくない」も多くなっている。また、年代が上がるにつれて「結婚の必要性を感じない」が増える傾向にあり、特に女性において年代間の差が大きくなっている。



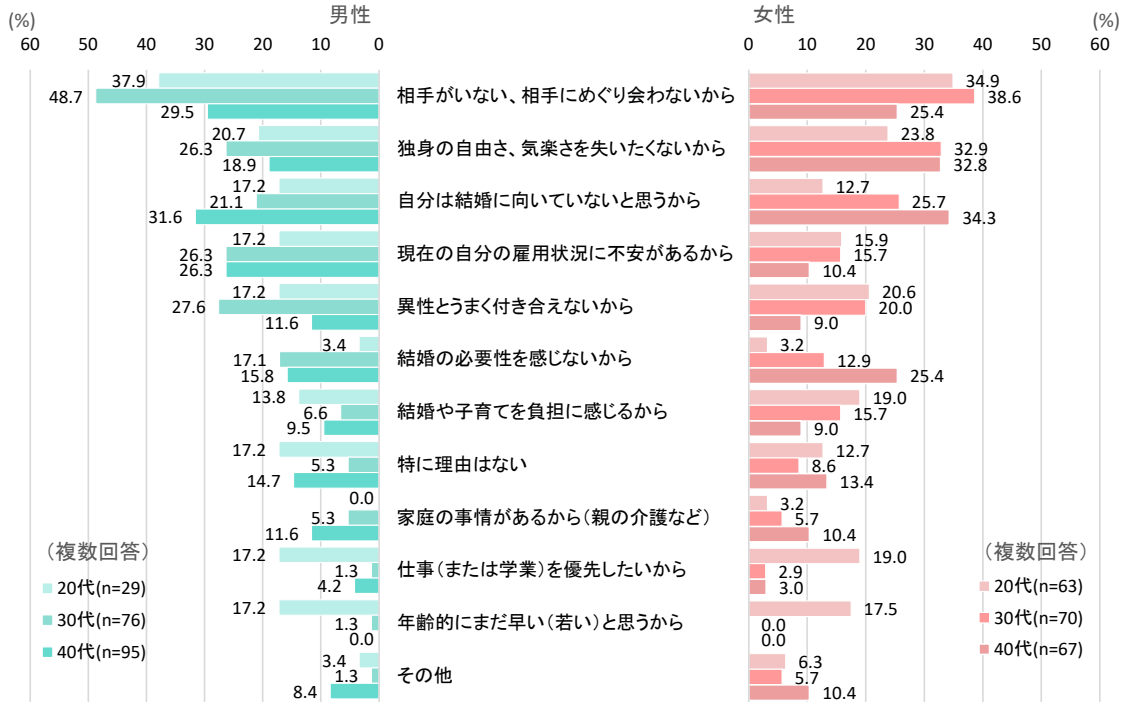
【性別】



【年代別】

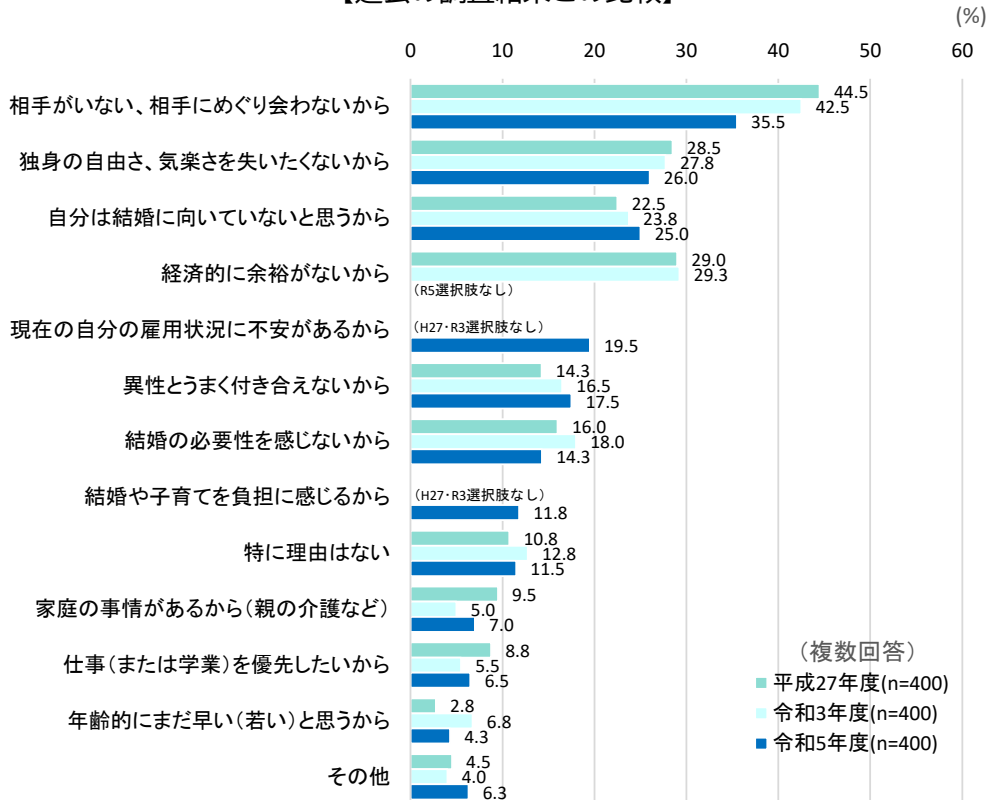


【性年代別】



過去の調査結果と比較すると、「相手がいない」の割合が低くなっている。

【過去の調査結果との比較】

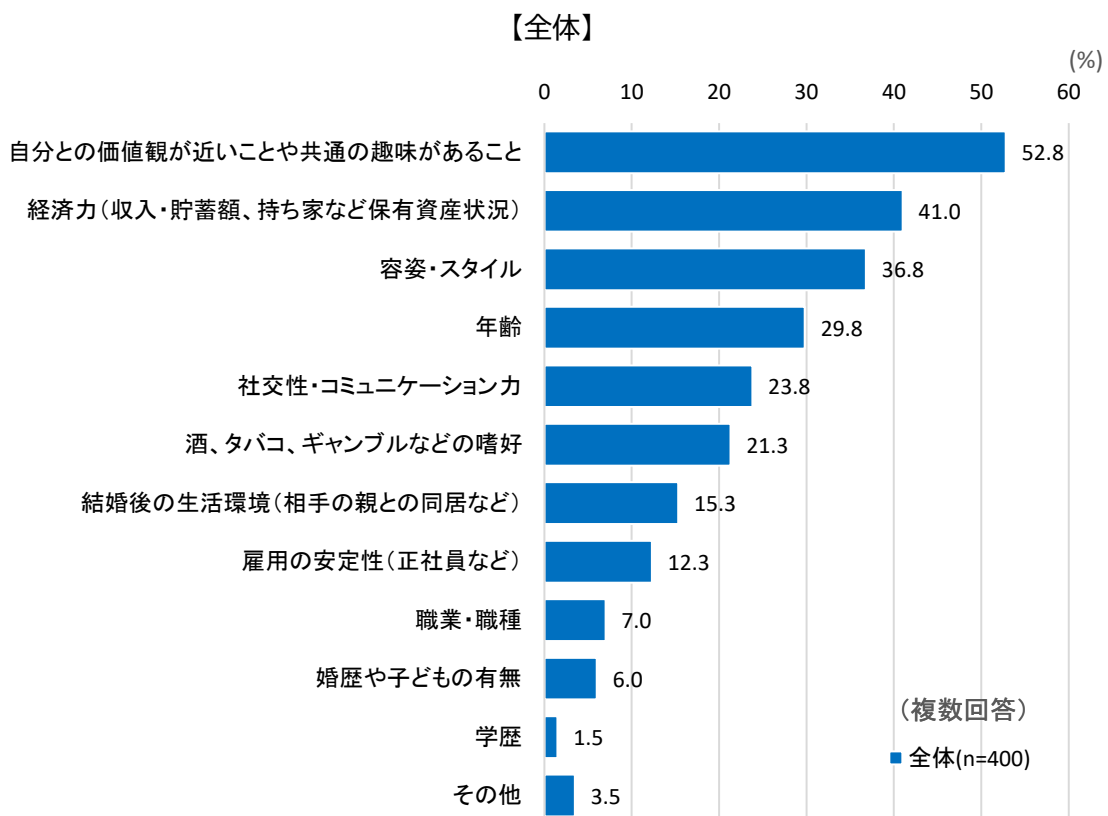


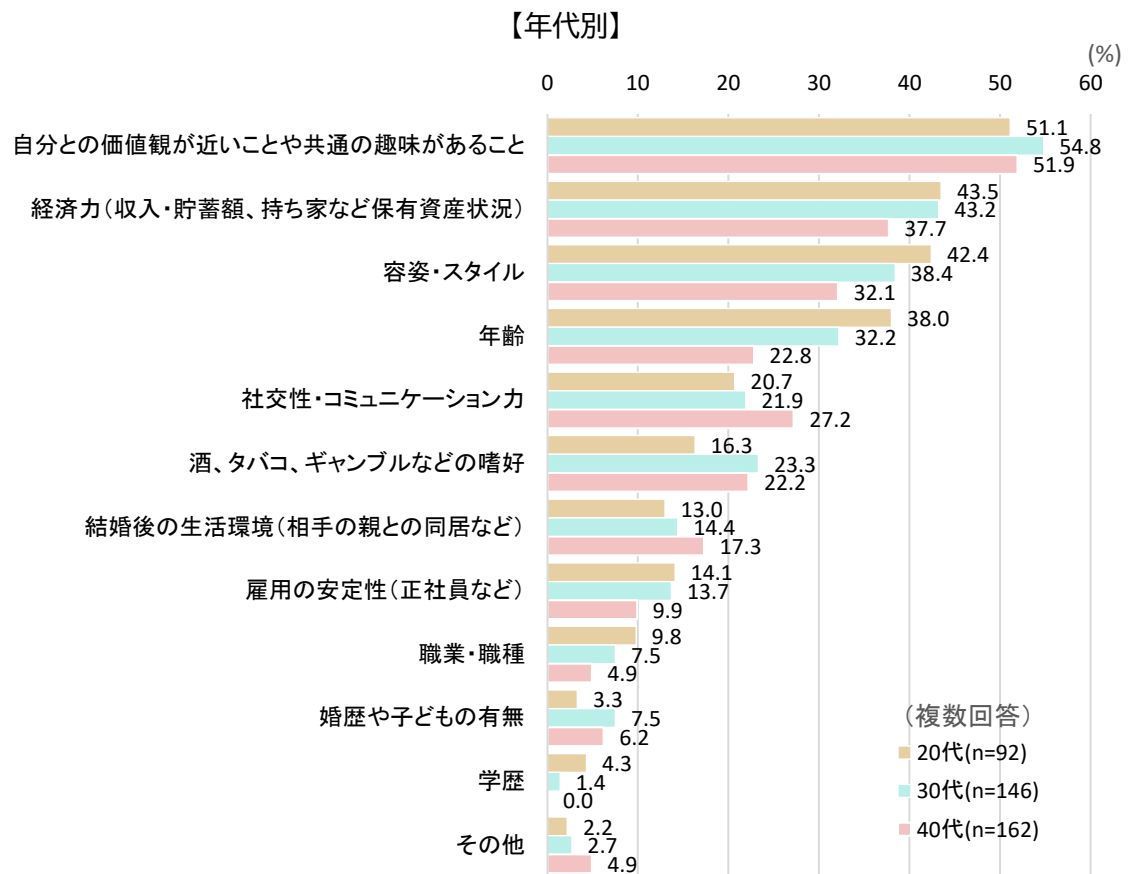
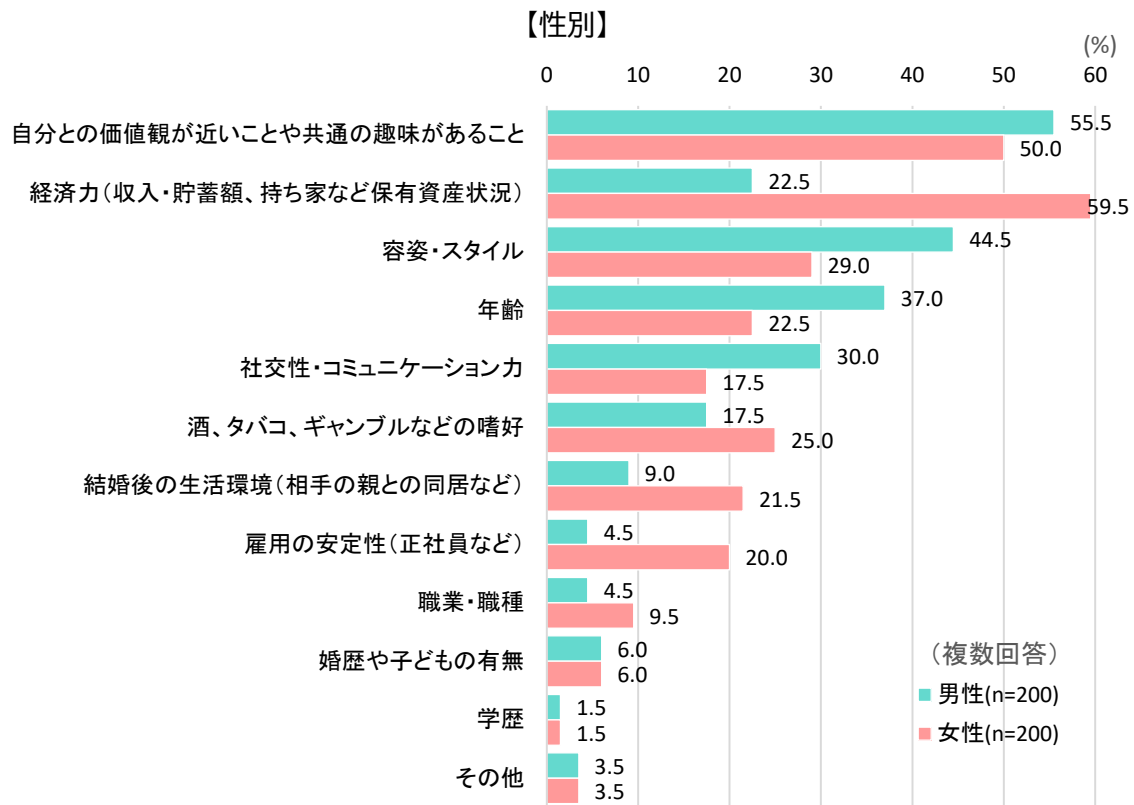
あなたが結婚を考えると、結婚相手としてこだわるポイントは何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

結婚相手としてこだわるポイントを3つまで聞いたところ、全体では「価値観が近い」が52.8%で最も多く、「経済力」41%、「容姿・スタイル」36.8%、と続いている。

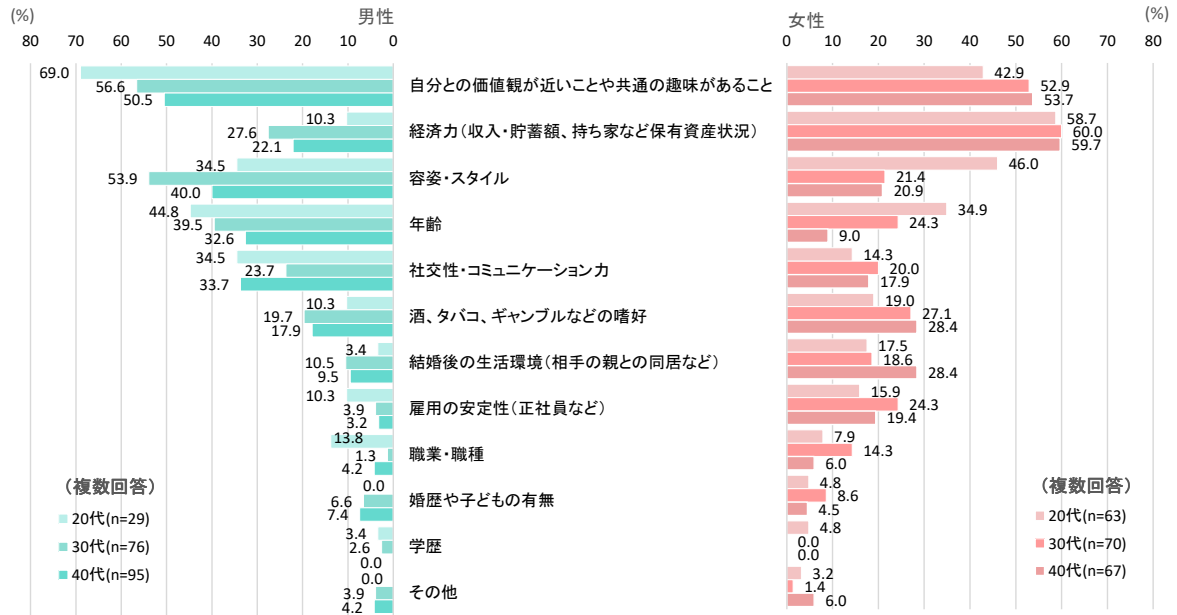
男女別で見ると、男性は女性よりも「容姿・スタイル」で約16ポイント、「年齢」で約15ポイント、「社交性」で約13ポイント高くなっている。また、女性は男性よりも「経済力」で37ポイントと大きな差があり、そのほか、「雇用の安定性」で約16ポイント、「結婚後の生活環境」で約13ポイント、「酒・タバコ・ギャンブルなどの嗜好」で約8ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「年齢」と回答した人は年代が上がるにつれ少なくなり、特に女性でその傾向が強くなっている。また、「容姿・スタイル」は20代女性及び30代男性で特に高くなっている。



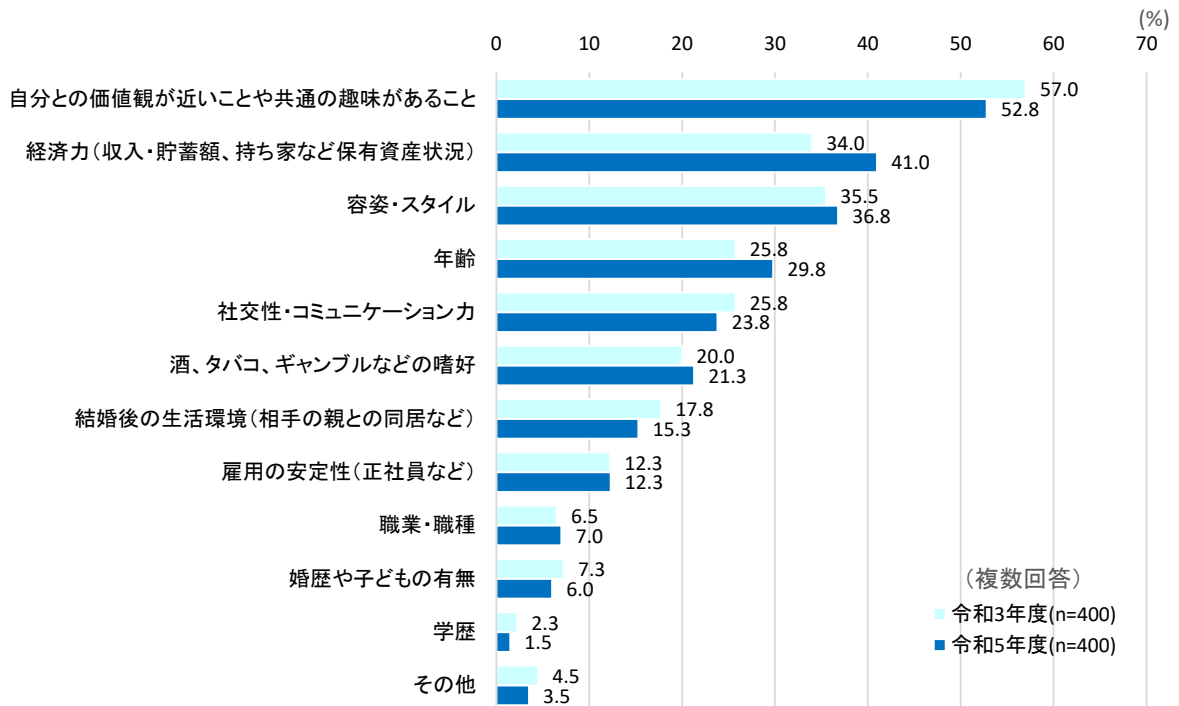


【性年代別】



令和3年度の調査結果と比較すると、「価値観が近い」の割合が減少し、「経済力」の割合が増加している。

【過去の調査結果との比較】



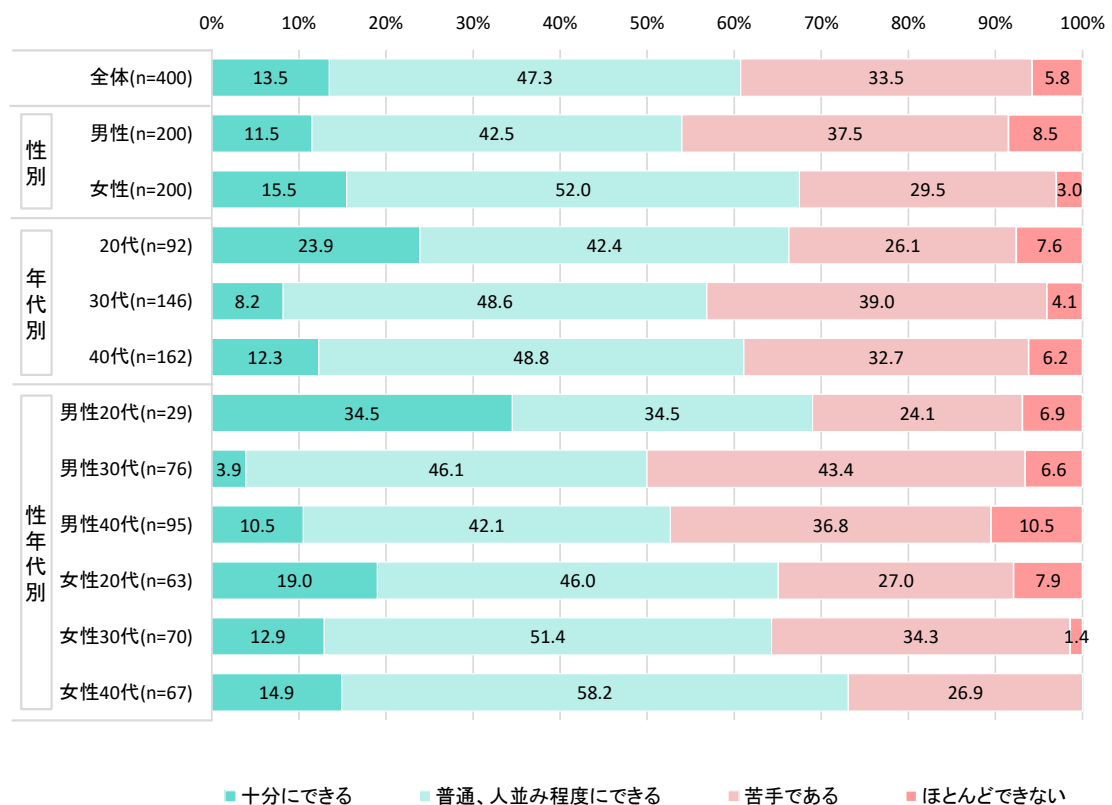
(4)異性との関わりについて

あなたは、異性と話をしたり、コミュニケーションをとることがどの程度できると感じていますか。

異性とコミュニケーションをとることがどの程度できるか聞いたところ、全体では 33.5%が「苦手」、5.8%が「ほとんどできない」と回答している。

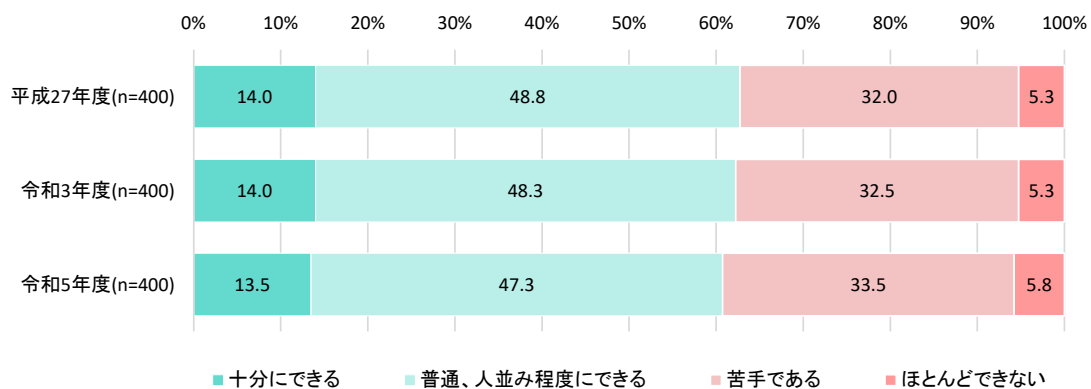
男女別で見ると、「苦手・ほとんどできない」と回答した男性は 46%、女性は 32.5%であり、男性の方が女性より約14ポイント高くなっている。

年代別で見ると、20代と比べて30代、40代で「苦手・ほとんどできない」の割合が高く、特に男性でその傾向が強い。



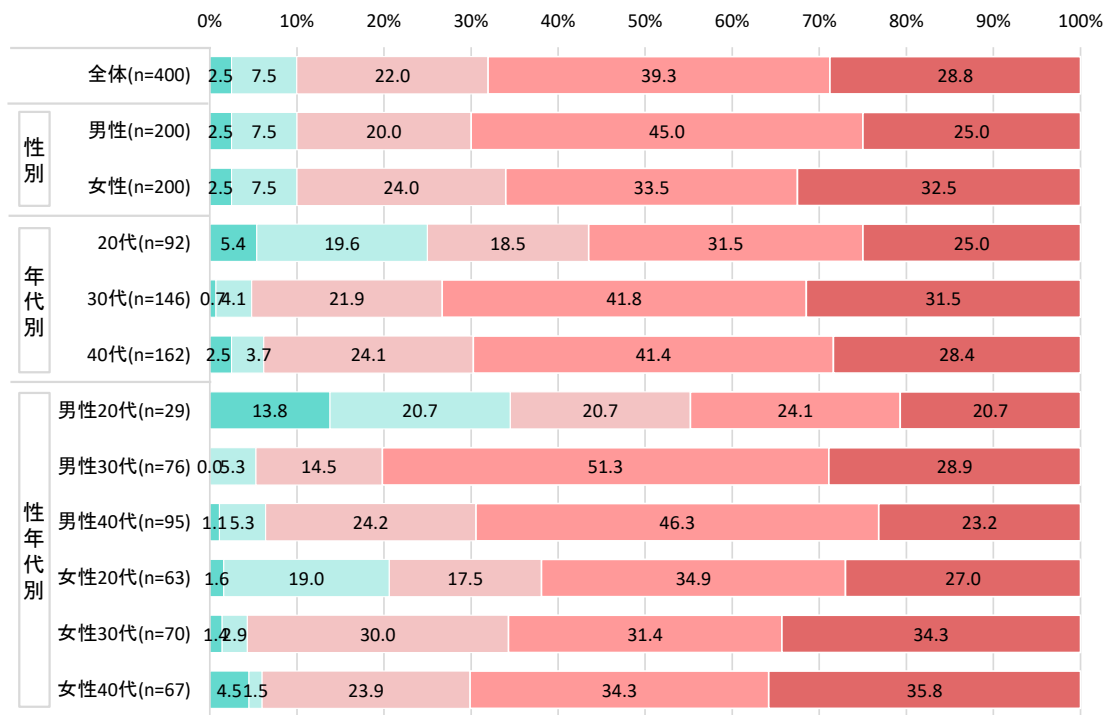
過去の調査結果と比較すると、各回答の割合に変化は見られない。

【過去の調査結果との比較】



あなたは、独身の異性との出会いの機会について、どう感じていますか。

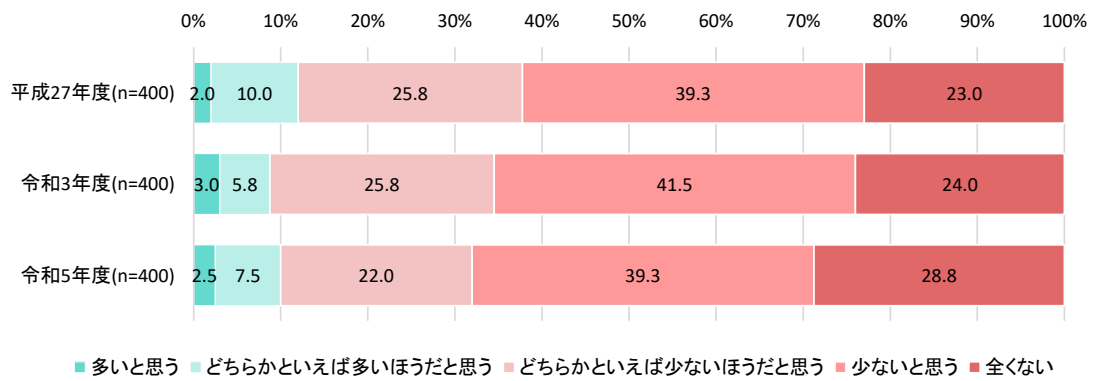
異性との出会いの機会について聞いたところ、全体の 90.1%が「どちらかといえば少ない・少ない・全くない」と回答している。
 男女別では、各回答の割合に大きな差は見られない。
 年代別で見ると、男女ともに30代、40代で「どちらかといえば少ない・少ない・全くない」と回答した人の割合が高くなっている。



■ 多いと思う ■ どちらかといえば多いほうだと思う ■ どちらかといえば少ないほうだと思う ■ 少ないと思う ■ 全くない

過去の調査結果と比較すると、大きな変化は見られないが、令和3年度と比べると、「どちらかといえば少ない」の割合が若干下がり、その分「全くない」の割合が増えている。

【過去の調査結果との比較】



(5) 婚活への取り組みについて

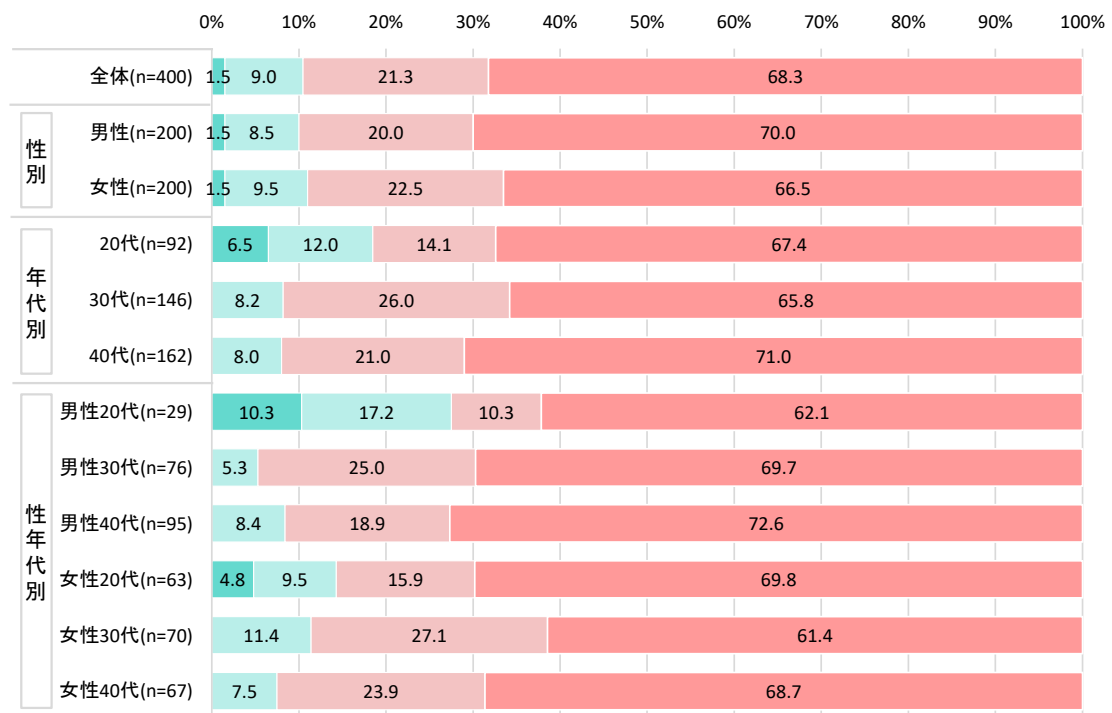
現在、あなたは婚活(結婚をめざした活動)をしていますか。

※婚活にはイベントやセミナーなどへの参加のほか、知人などから異性の紹介を受けたり、結婚関連サービス(結婚相談所等や婚活サイト・アプリ)を利用したりすることをいいます。

婚活への取り組みについて聞いたところ、「現在婚活をしている」人は全体の 10.5%にとどまっており、「婚活をしたことがない」人は 68.3%となっている。

男女別で見ると、「現在婚活をしている」人の割合は男女ともほぼ同じだが、「婚活をしたことがない」人の割合は男性の方が女性よりも約4ポイント高くなっている。

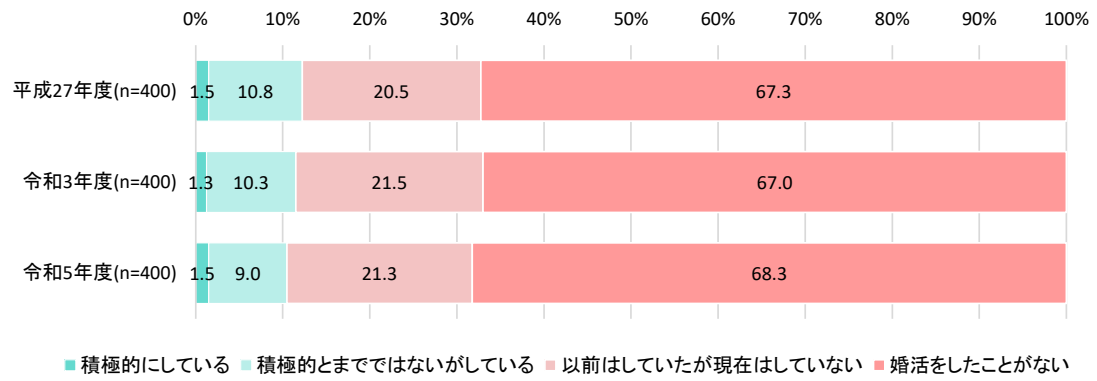
年代別で見ると、「現在婚活をしている」人の割合は男女ともに20代が最も高い。また、「前はしていたが現在はしていない」人の割合は男女ともに30代が最も高い。



■ 積極的にしている ■ 積極的とまではないがしている ■ 前はしていたが現在はしていない ■ 婚活をしたことがない

過去の調査結果と比較すると、各回答の割合に大きな変化は見られない。

【平成27年度調査との比較】

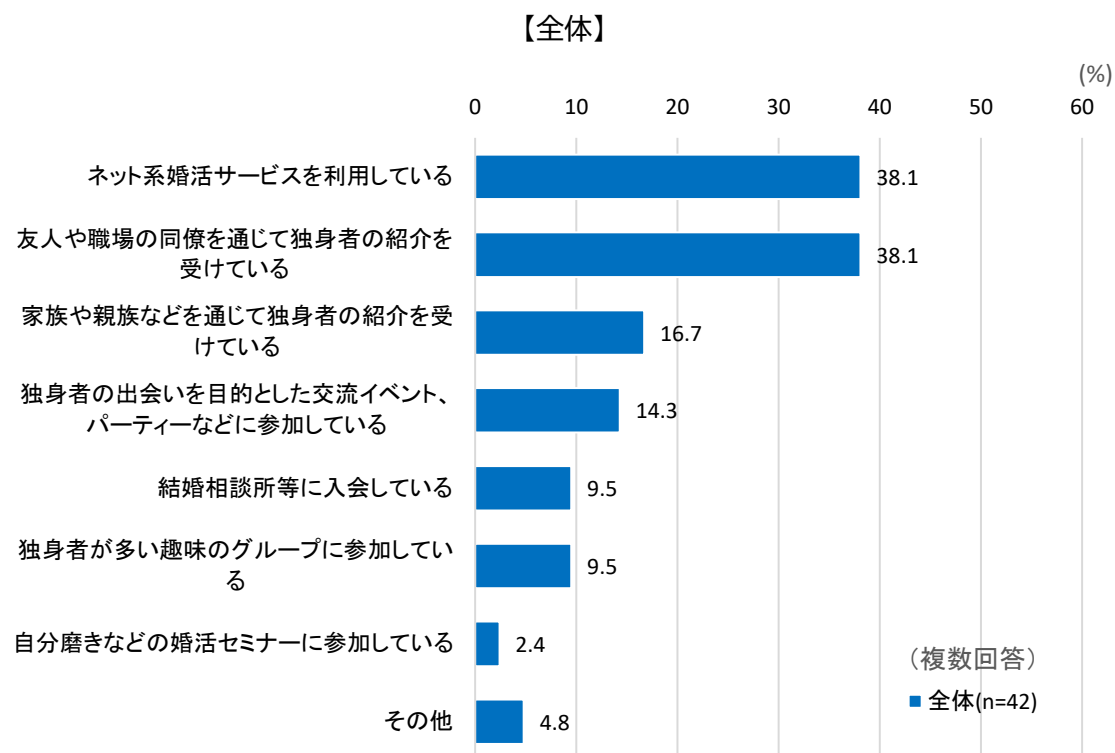


現在、婚活(結婚を目指した活動)を「積極的にしている」「積極的とまでではないがしている」と回答された方にお伺いします。

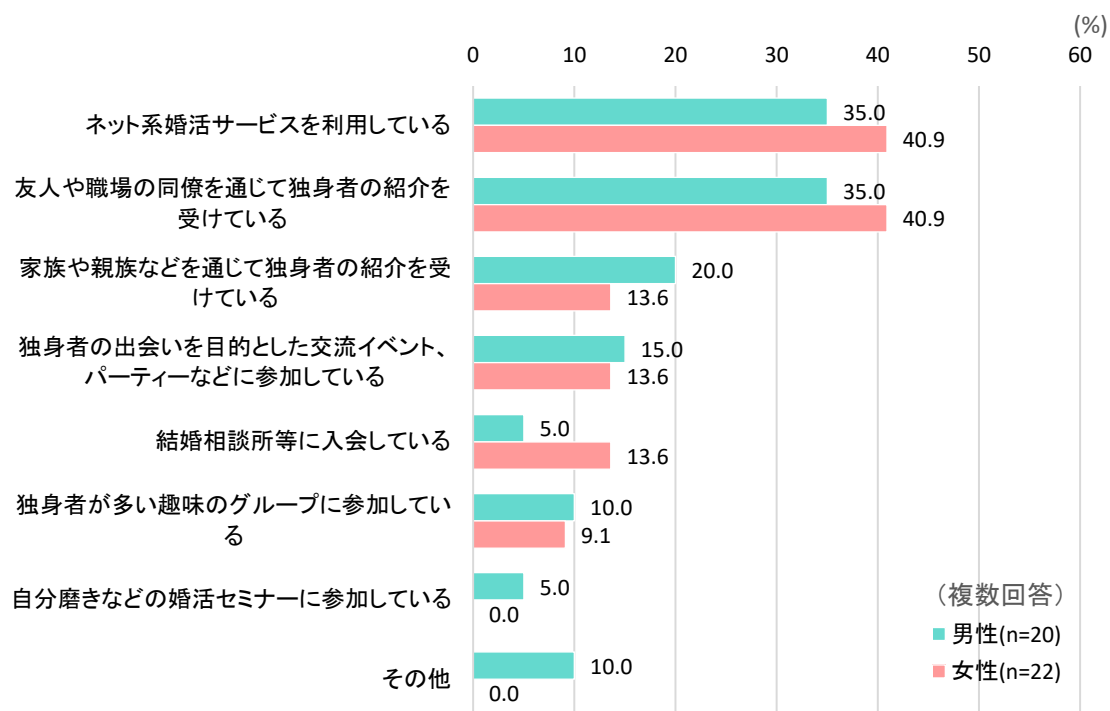
具体的にどのような婚活を行っていますか。(いくつでも)

「婚活をしている」と回答した人に、どのような活動を行っているか聞いたところ、全体では「ネット系婚活サービスを利用している」、「友人や職場の同僚を通じて紹介を受けている」がそれぞれ38.1%となっており、それ以外のことを行っている人は少ない状況となっている。

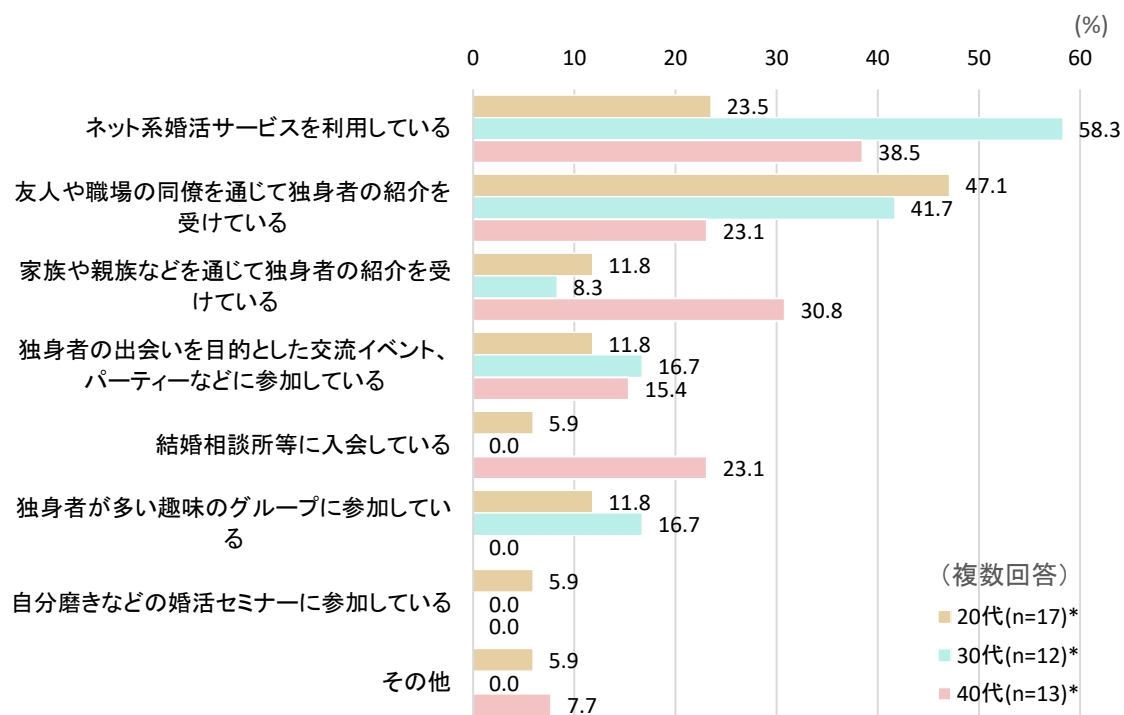
男女別で見ると、「ネット系婚活サービス」、「友人や職場の同僚からの紹介」、「結婚相談所等への入会」は女性の方が男性よりも高く、「家族や親族からの紹介」は男性の方が女性よりも高くなっている。



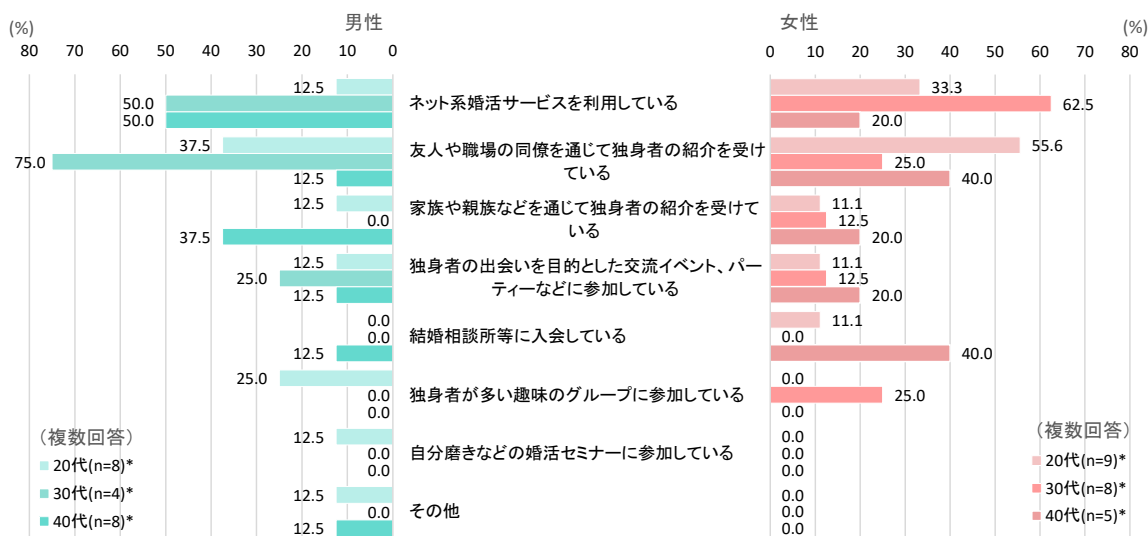
【性別】



【年代別】

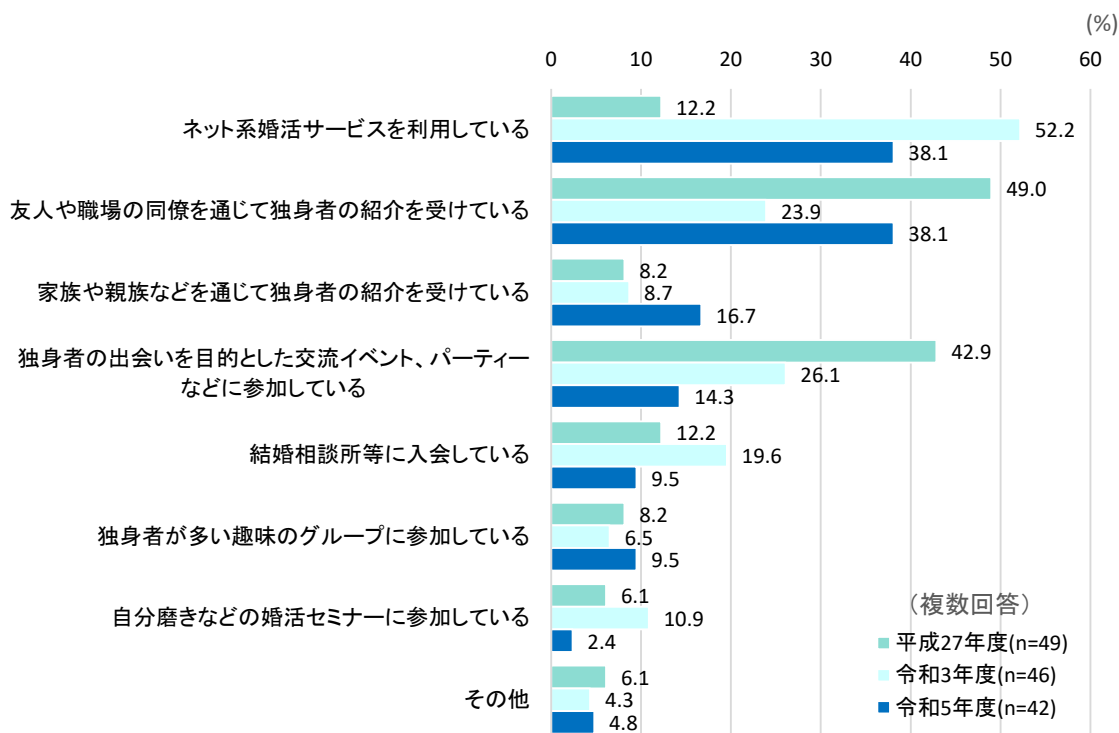


【性年代別】



過去の調査結果と比較すると、「ネット系婚活サービスを利用している」は平成27年度から令和3年度にかけて大きく増加したが、今回は減少している。また、「独身者の出会いを目的とした交流イベント、パーティーなどの参加している」は、調査を行うごとに減少している。

【過去の調査結果との比較】



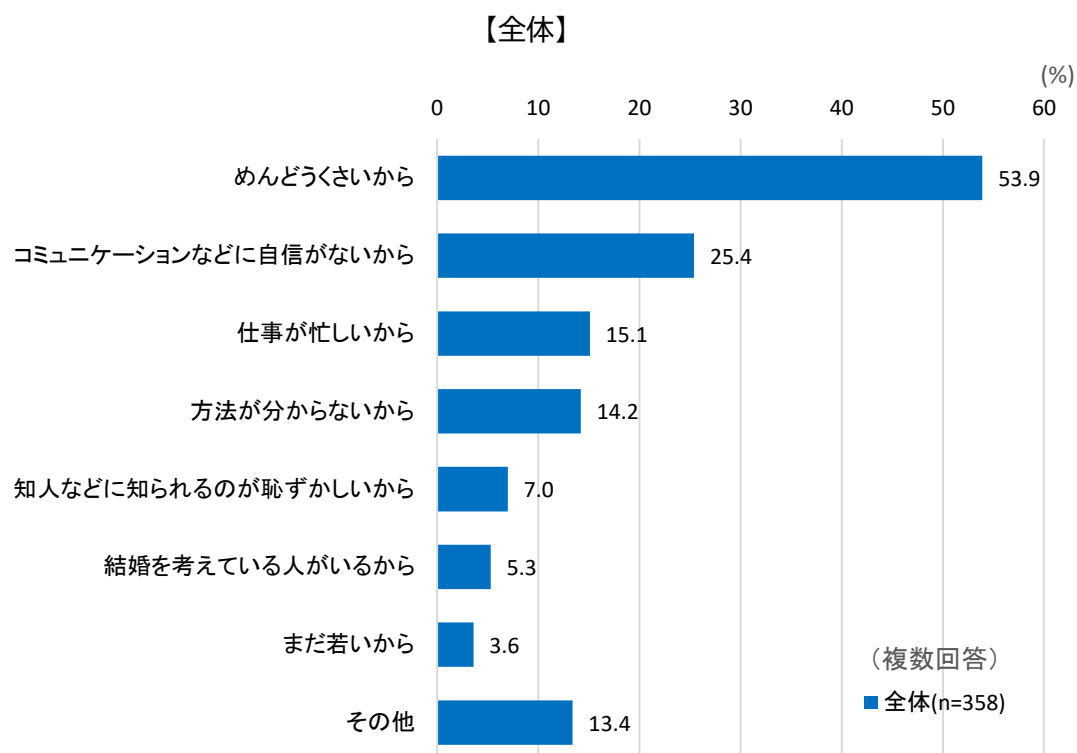
現在、婚活(結婚を目指した活動)を「以前はしていたが現在はしていない」「したことがない」と回答された方にお伺いします。

婚活を行っていない理由は何ですか。(いくつでも)

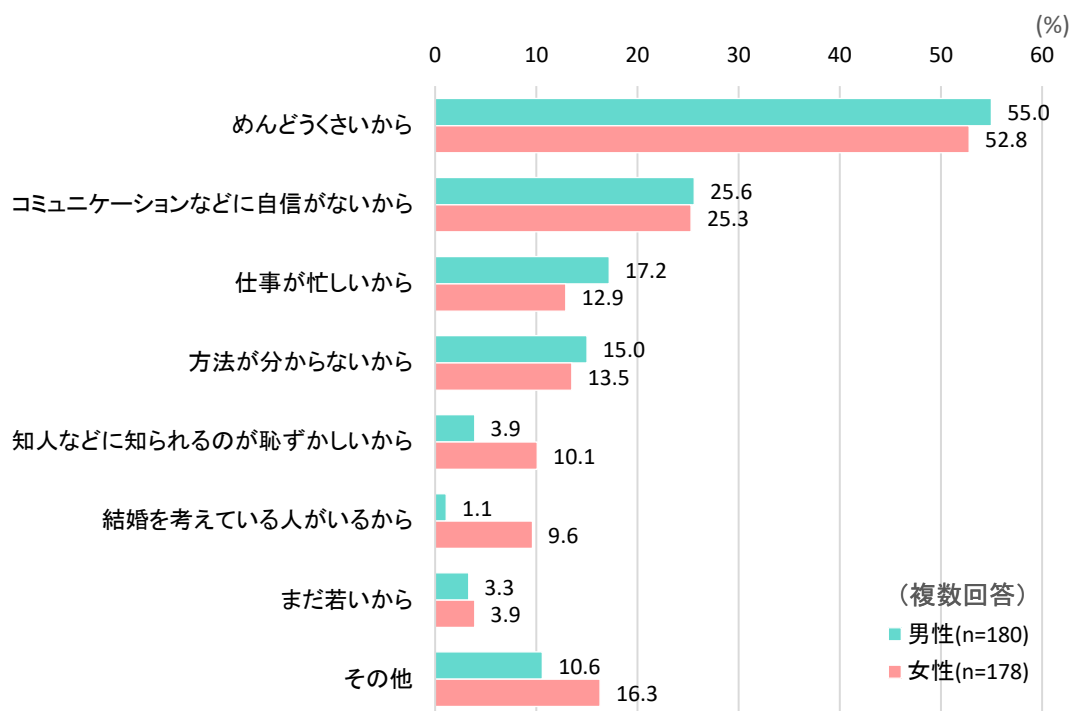
「婚活をしていない」と回答した人に、その理由を聞いたところ、全体では「めんどくさい」が53.9%と突出して高く、次いで、「コミュニケーションなどに自信がない」が25.4%となっている。

男女別で見ると、男性は女性に比べ、「仕事が忙しいから」の割合が高く、女性は男性に比べ、「知人などに知られるのが恥ずかしい」、「結婚を考えている人がいる」の割合が高くなっている。

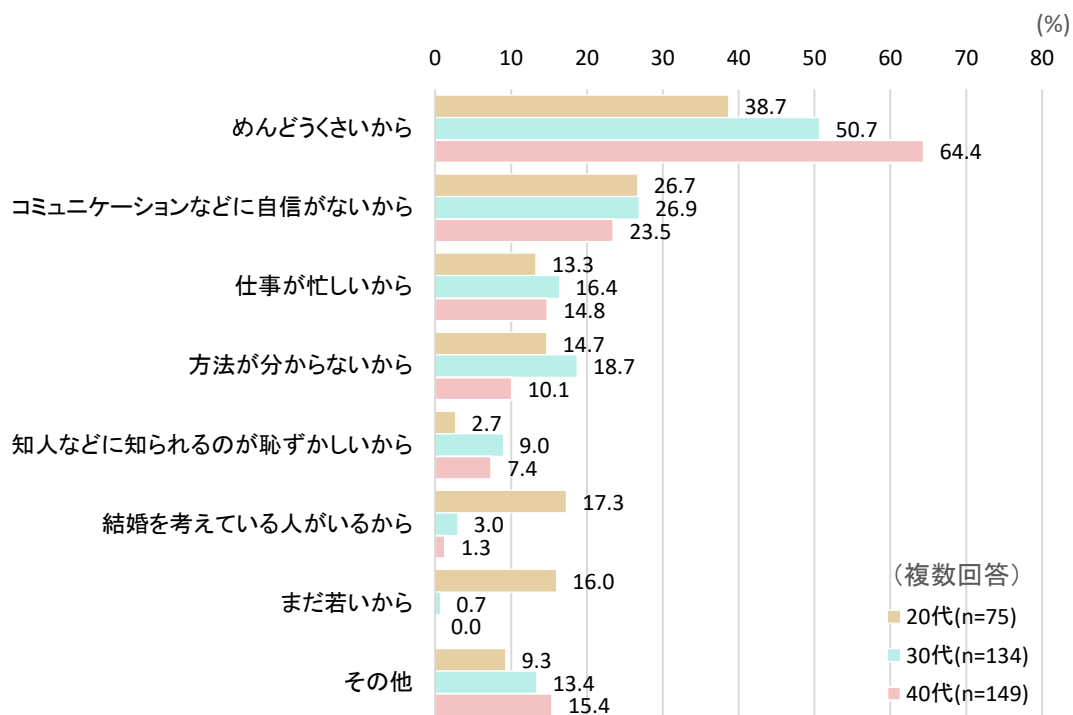
年代別で見ると、「めんどくさい」は、男女ともに年代が高くなるにつれ高くなっており、特に40代では6割以上の人を選択している。



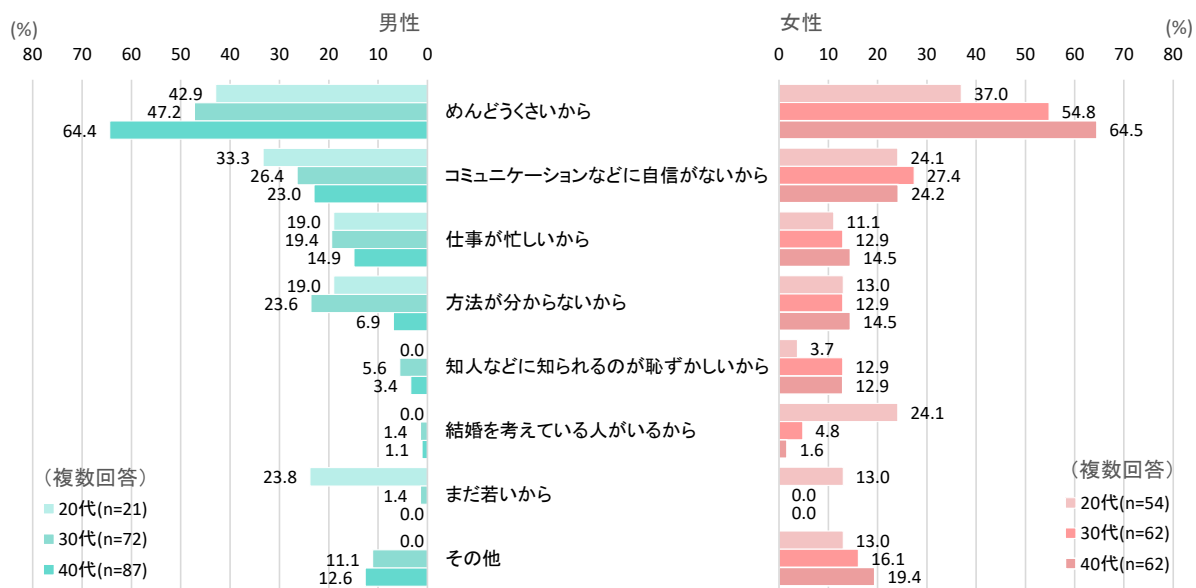
【性別】



【年代別】



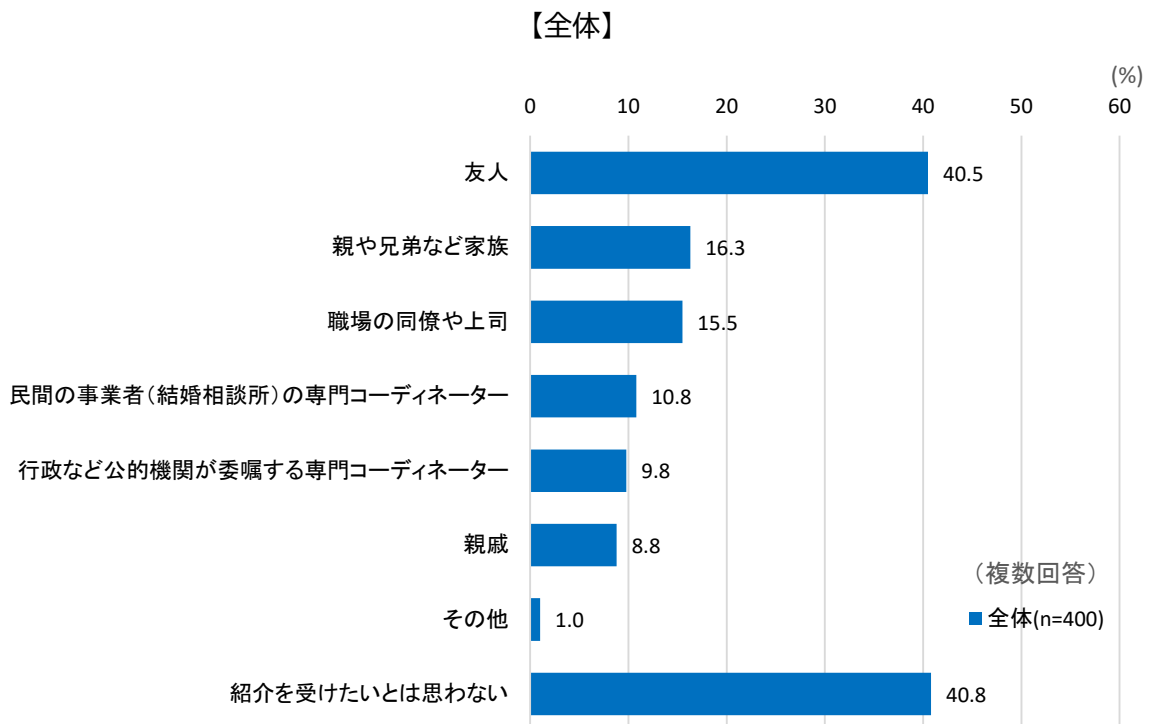
【性年代別】

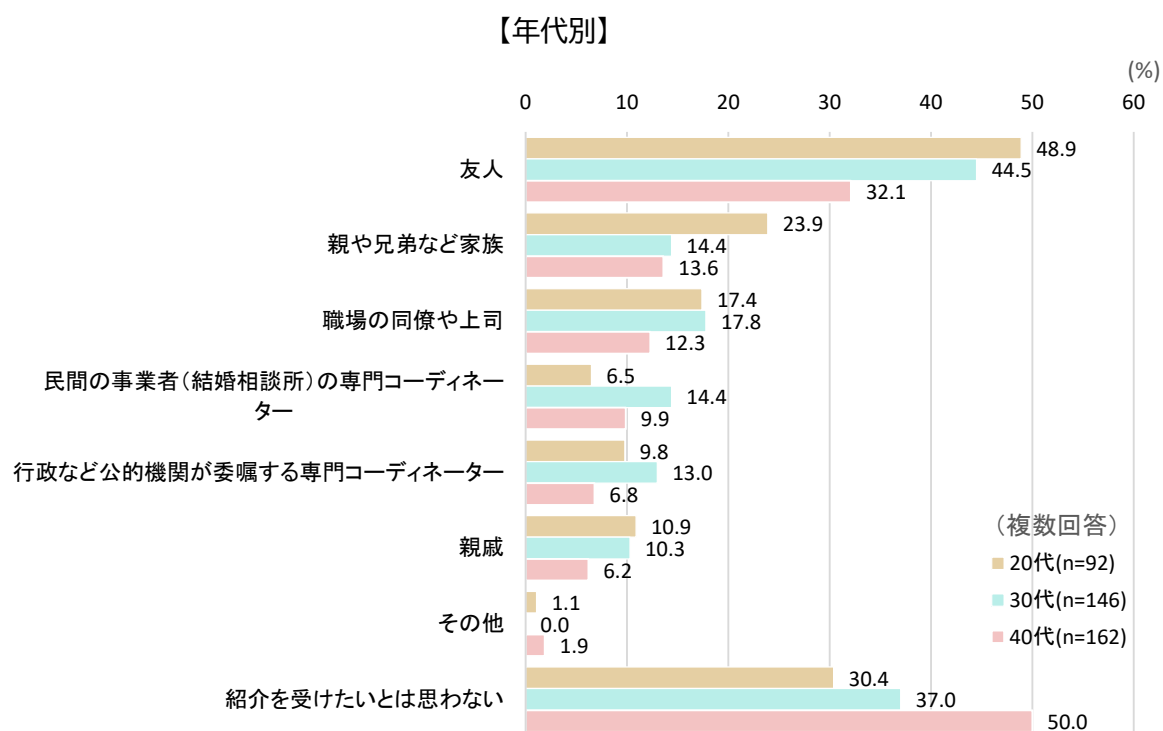
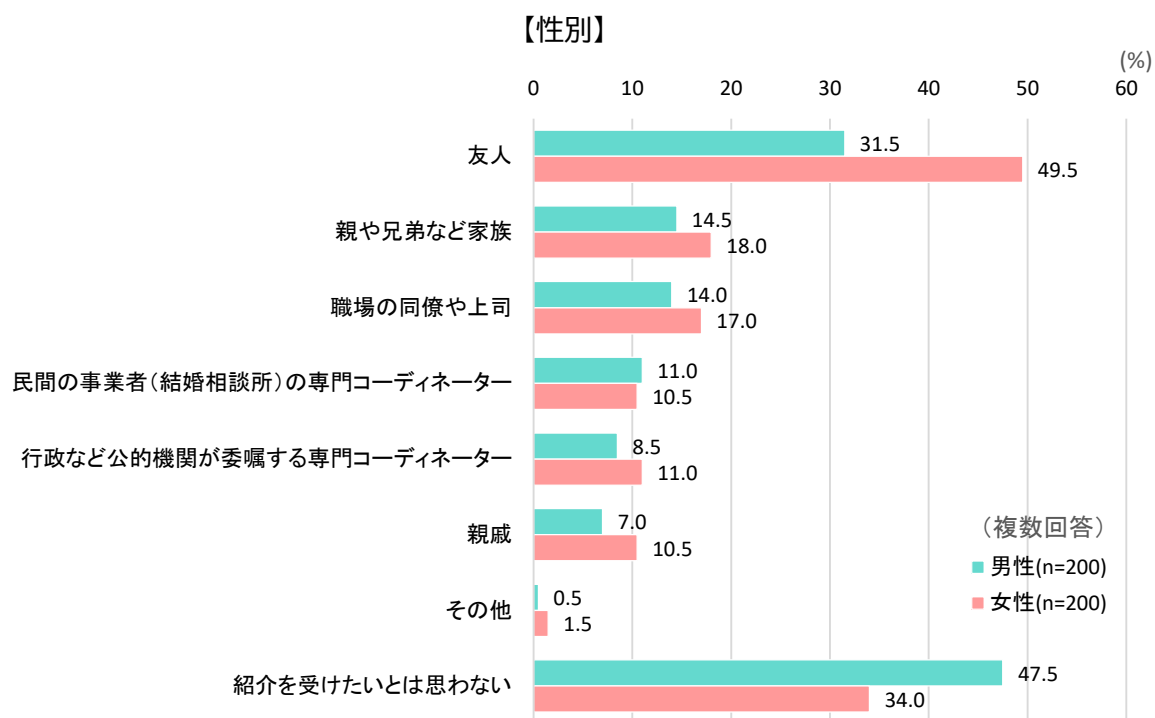


「お見合い」や「独身者の紹介」を受けるとしたら、どのような人からの紹介がいいですか。
(いくつでも)

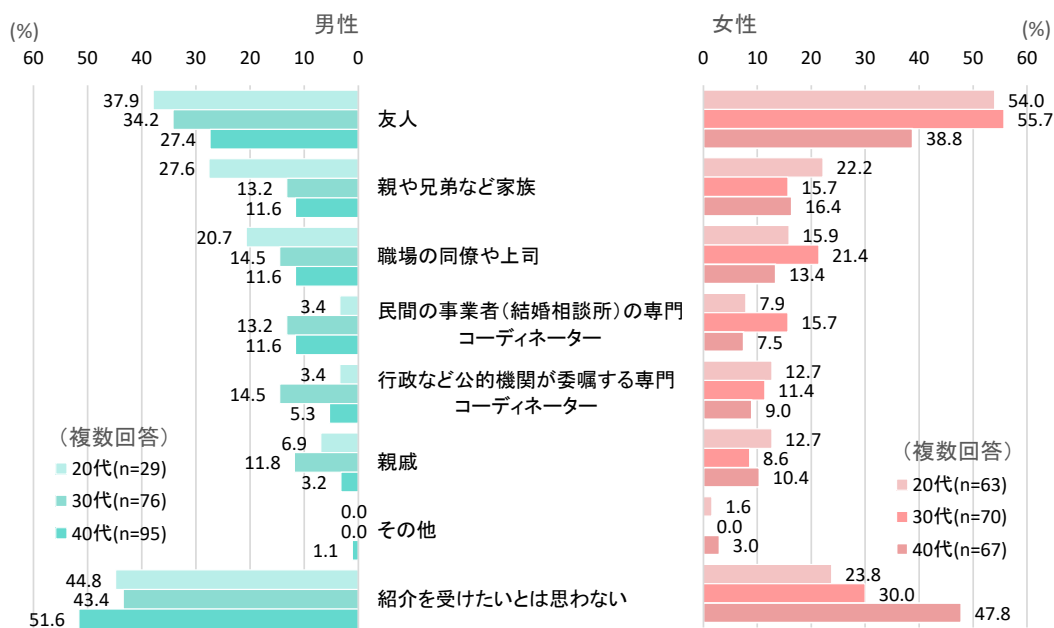
お見合いや独身者の紹介を受けるのに望ましい人は、「友人」が 40.5%と突出して高く、「親や兄弟など家族」、「職場の同僚や上司」がそれぞれ約15%、「民間の事業者の専門コーディネーター」、「行政など公的機関が委嘱する専門コーディネーター」、「親戚」がそれぞれ約10%となっている。一方、「紹介を受けたいとは思わない」と回答した人は 40.8%となっている。

「紹介を受けたいとは思わない」の割合を男女別で見ると、男性が女性よりも約14ポイント高くなっており、年代別では年代が高くなるにつれ割合が高くなっている。



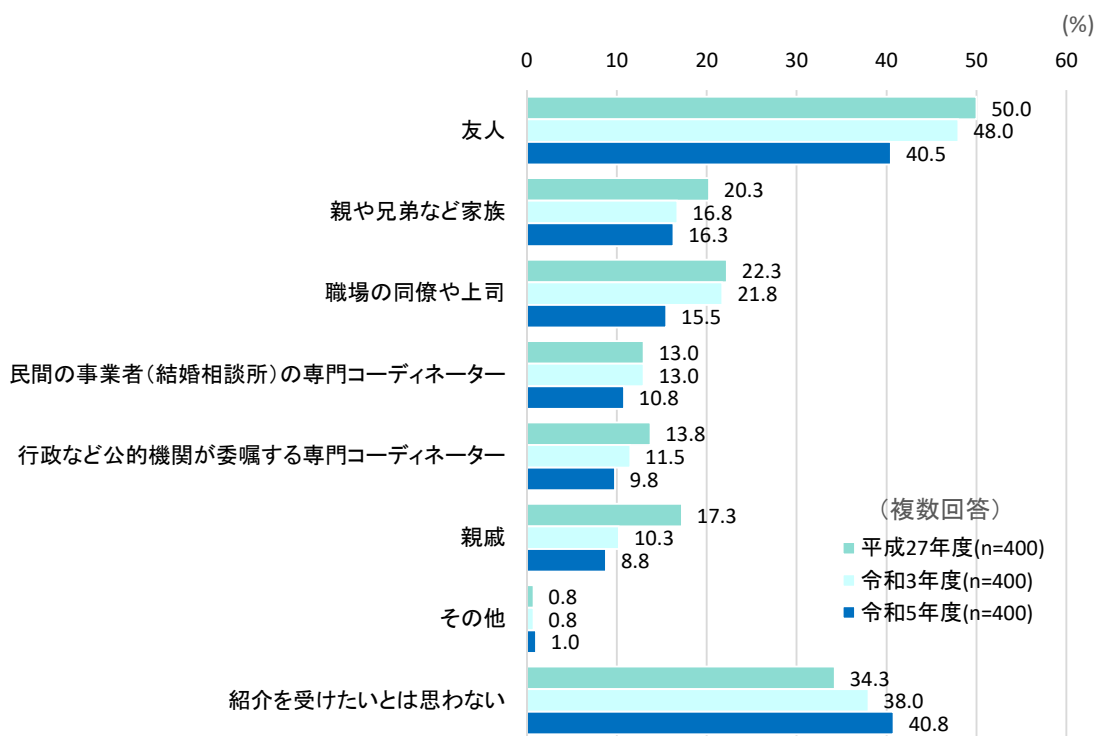


【性年代別】



過去の調査結果と比較すると、調査を行うごとに「紹介を受けたいとは思わない」の割合が増えており、その分、紹介を受けたい人は、全ての項目で減少している。ただ、いずれの調査時点でも「友人」が最も高く、各項目の順位も変わっていない。

【過去の調査結果との比較】



※平成27年度、令和3年度の結果は分割されていた2問を合算して再集計

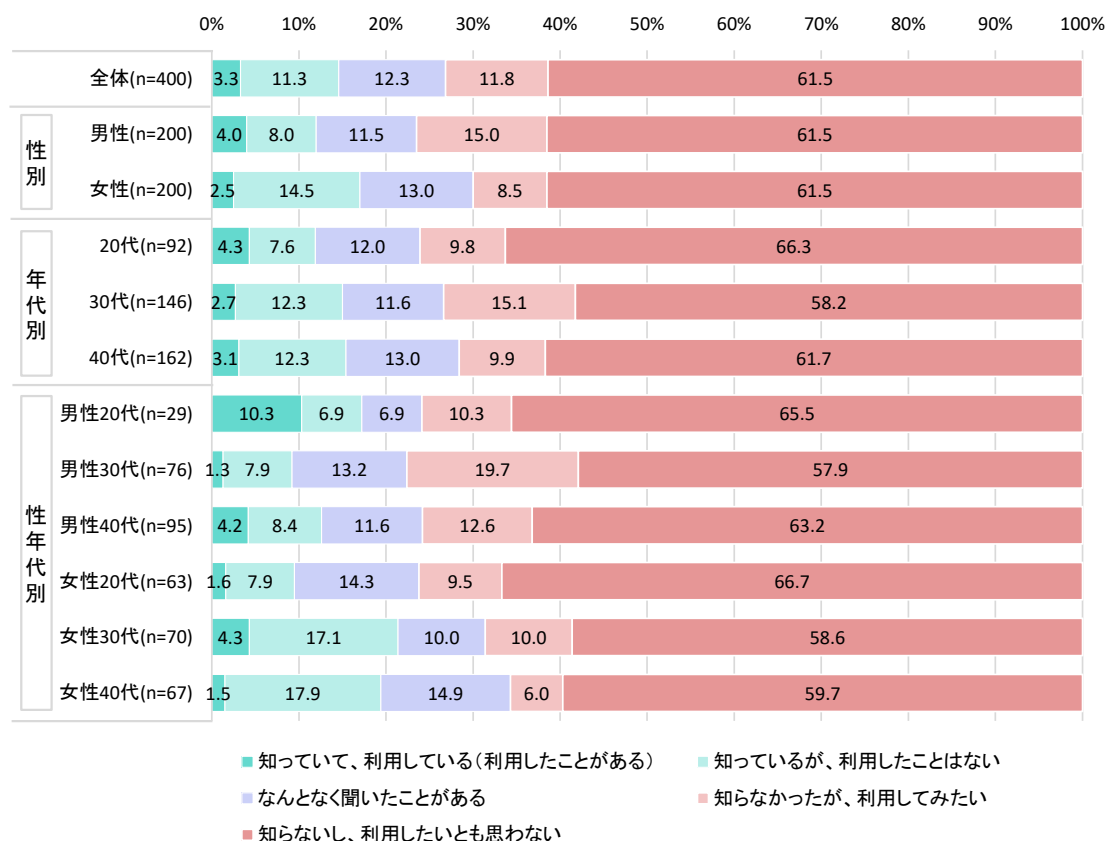
あなたは、「島根はっぴいこーでいねーたー(愛称:はぴこ)を知っていますか。

※『はぴこ』とは、独身男女の結婚応援をするボランティアの方です。結婚を望む独身者の相談に応じ、出会いのきっかけづくりを行っています。

『はぴこ』について「知っている・聞いたことがある」人は、全体では 26.8%、実際に利用経験がある人は 3.3%となっている。また、「知らなかったが利用してみたい」人は 11.8%となっている。

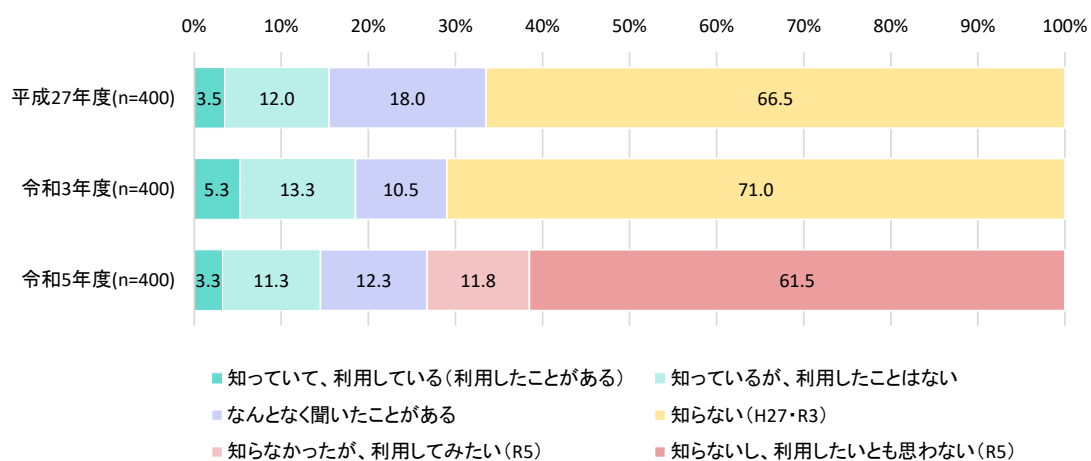
男女別で見ると、女性の方が認知度は高いが、実際に利用経験がある人は男性の方が多くなっている。

年代別で見ると、年代が上がるにつれて認知度は高くなっており、特に女性の30代、40代の認知度が高いが、実際に利用経験がある人の割合は男性20代が最も高く、そのほか、男性40代、女性30代で高くなっている。また、男性30代では「知らなかったが利用してみたい」の割合が高くなっている。



過去の調査結果と比較すると、『はぴこ』を「知っている・聞いたことがある」人の割合は、調査を行うごとに減少している。

【過去の調査結果との比較】



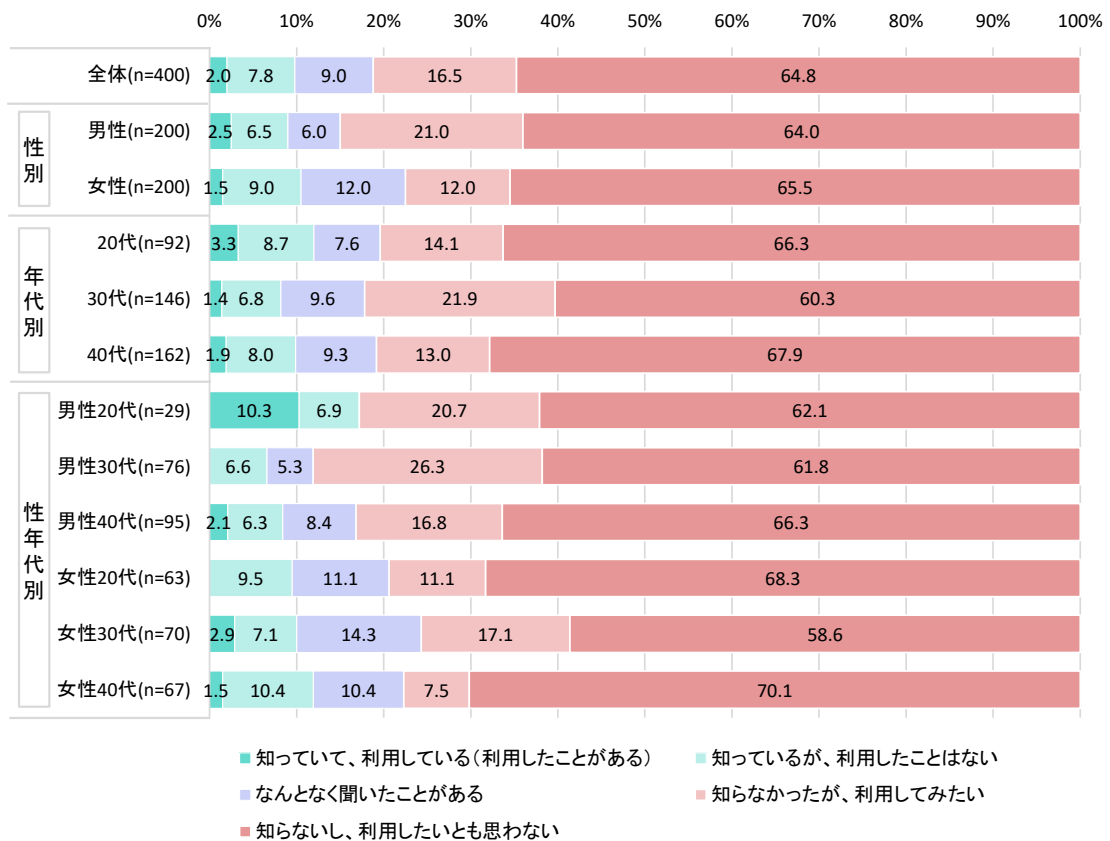
あなたは、「しまねコンピューターマッチング『しまコ』」を知っていますか。

※『しまコ』とは、結婚を希望する独身者がシステムに自身のプロフィールを登録し、専用端末等でお相手の情報を閲覧し、会いたい人を選んでお引き合わせの申し込みを行います。お引き合わせの際には、しまコサポーター(しまね縁結びサポートセンター職員等)が同席します。令和4年度からは「自宅閲覧」機能も追加され、希望する会員は自宅でご自身のスマートフォン等を使って簡易プロフィールでお相手を探し、お相手がプロフィール開示をお受けされればお互いのプロフィールを確認することもできます。

『しまコ』について「知っている・聞いたことがある」人は、全体では 18.8%であり、実際に利用経験がある人は 2%となっている。

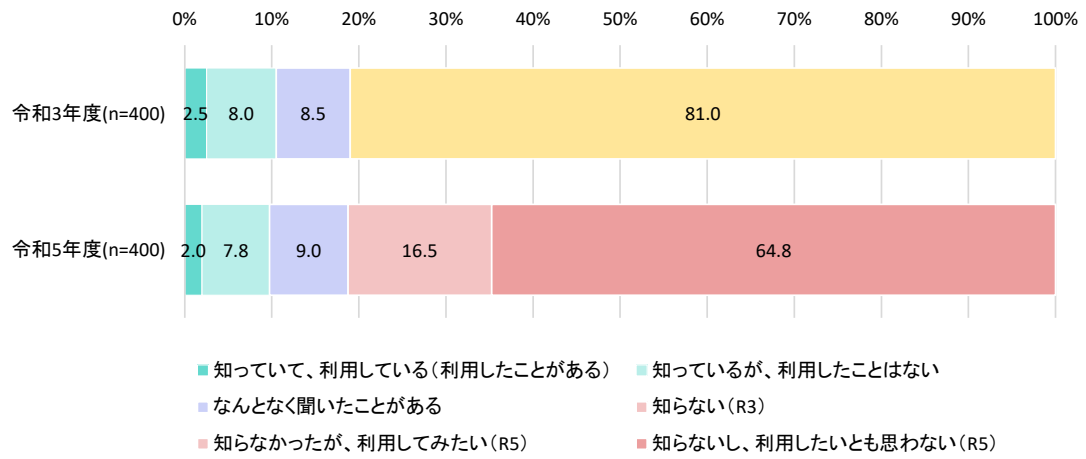
男女別で見ると、女性の方が認知度は高いが、実際に利用経験がある人は男性の方が多くなっている。

年代別で見ると、実際に利用したことがある人の割合は男性20代で高く、一方で女性20代では0となっている。また、男性30代は認知度が低いものの、「知らなかったが利用してみたい」の割合が高くなっている。



令和3年度の調査結果と比較すると、各回答の割合に大きな変化は見られない。

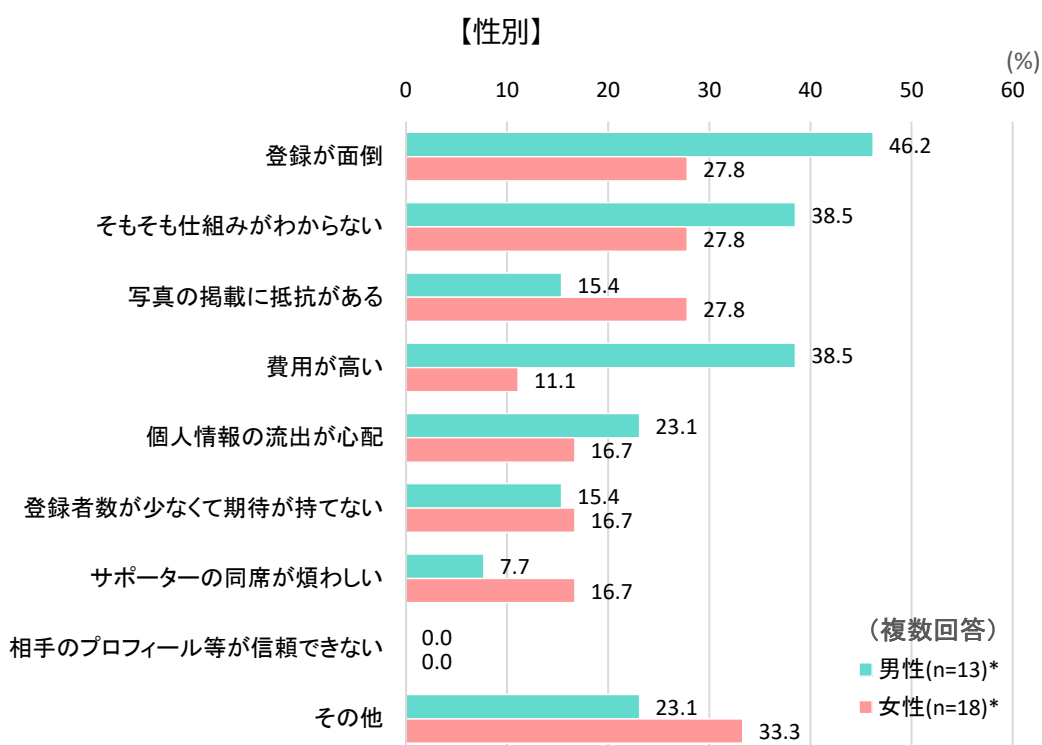
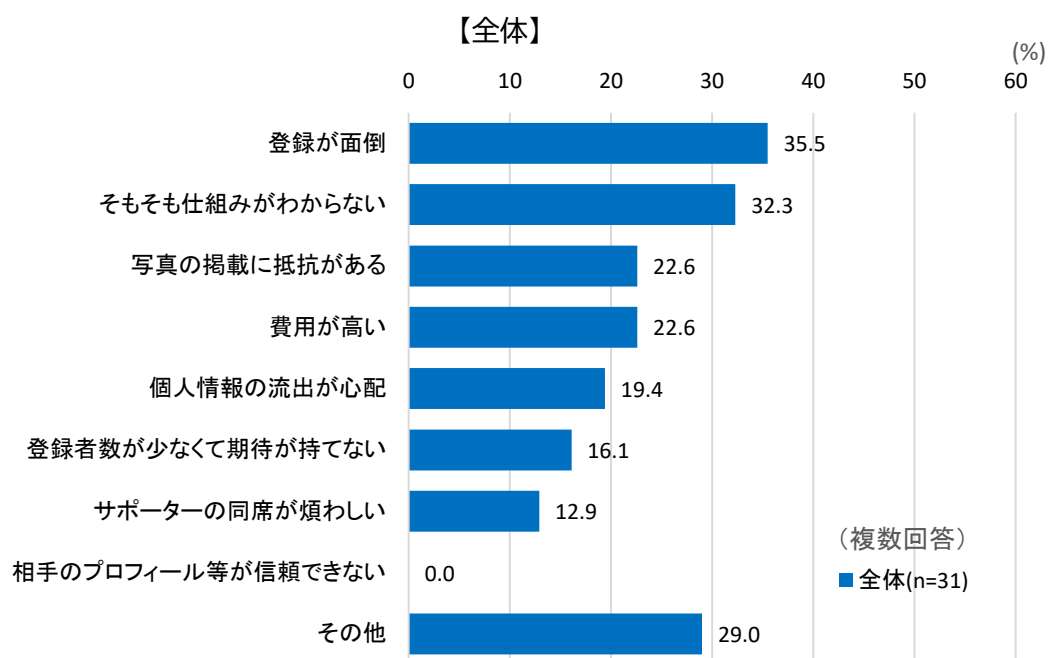
【過去の調査結果との比較】



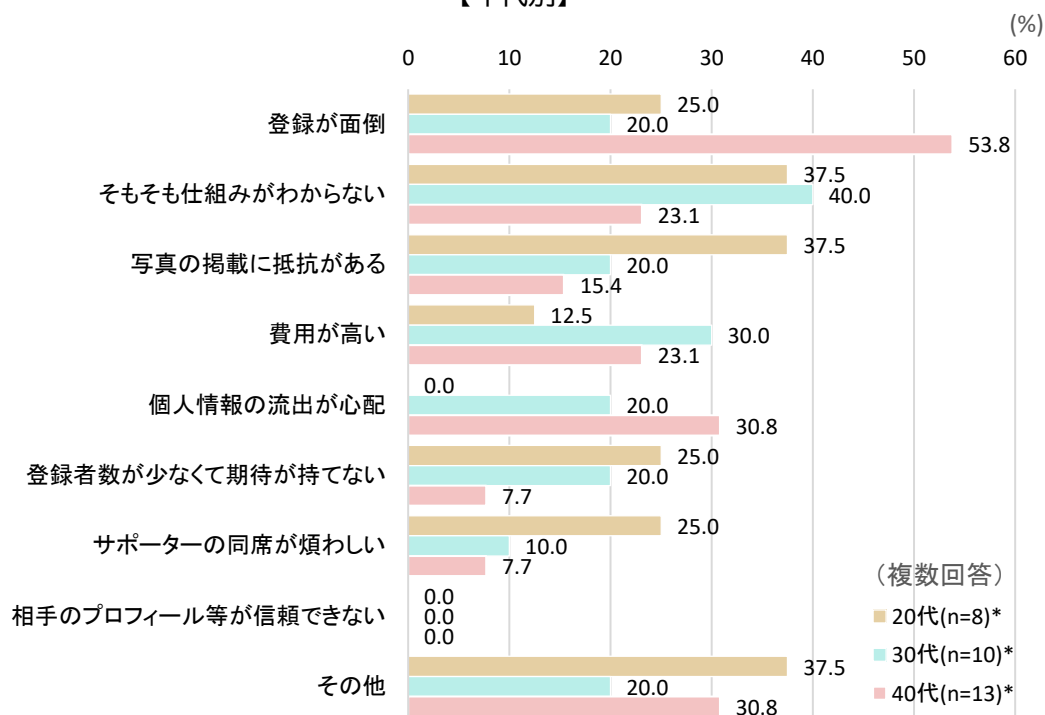
『しまコ』を「知っているが、利用したことはない」とお答えの方にお伺いします。

『しまコ』を利用しない理由は何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

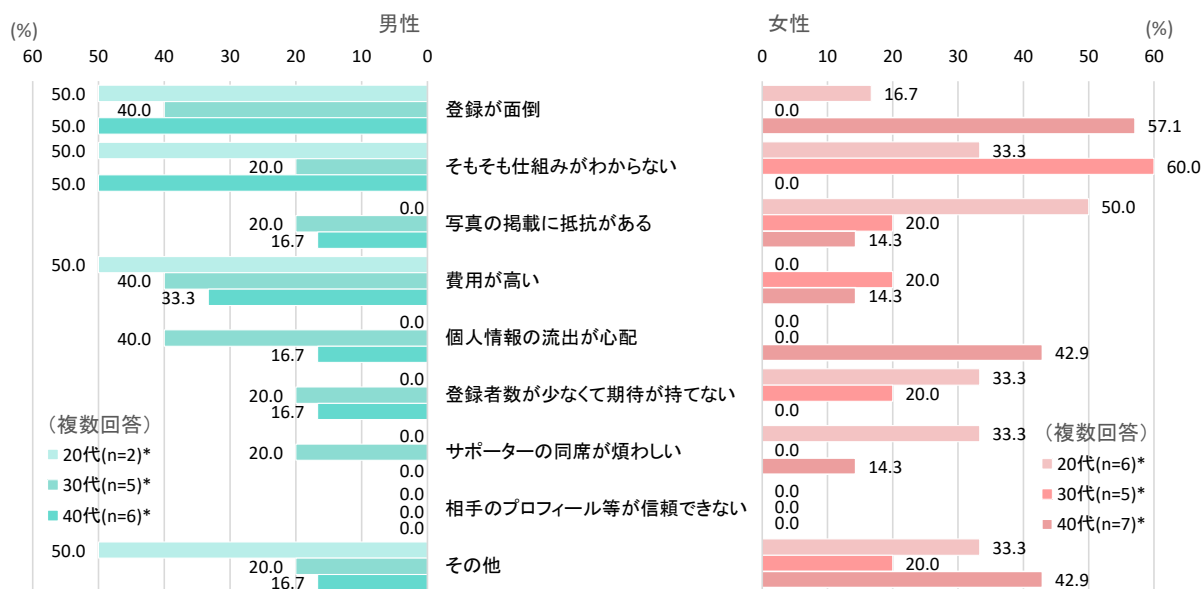
『しまコ』を利用しない理由について聞いたところ、全体では「登録が面倒」が35.5%で最も多く、「そもそも仕組みがわからない」が32.3%、「写真の掲載に抵抗がある」「費用が高い」がそれぞれ22.6%と続いている。



【年代別】

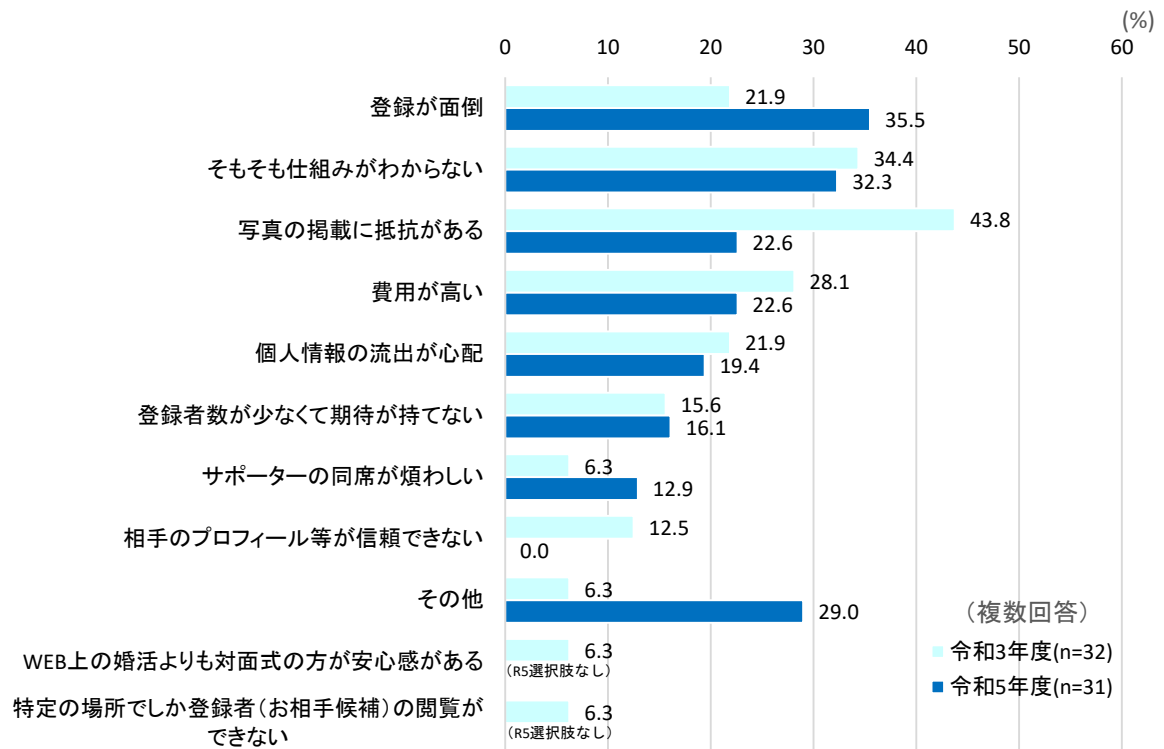


【性年代別】



令和3年度の調査結果と比較すると、「登録が面倒」の割合が増え、「写真の掲載に抵抗がある」の割合が減っている。

【過去の調査結果との比較】



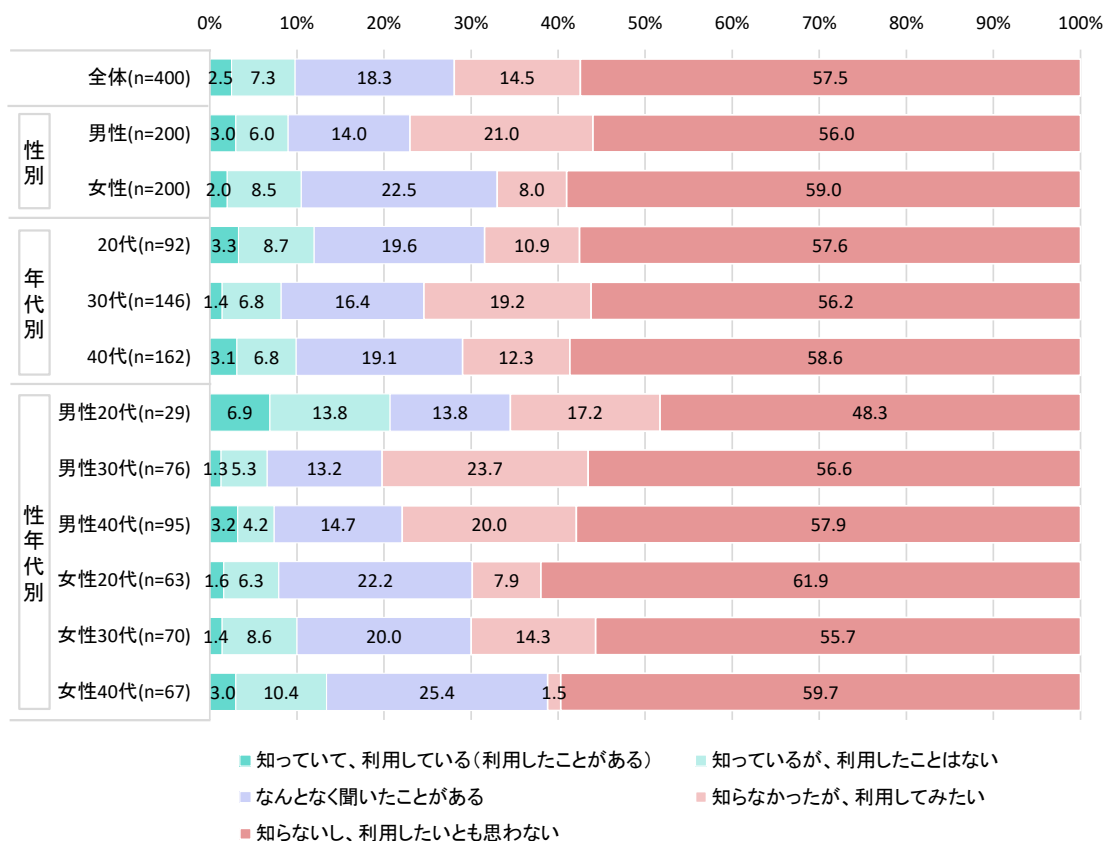
あなたは、「しまね縁結びサポートセンター」を知っていますか。

※しまね縁結びサポートセンターは、島根県から委託を受け、結婚を望む独身者を対象に、コーディネーターによる結婚相談(制度案内)、縁結びボランティア「はぴこ」の紹介、しまねコンピューターマッチング「しまこ」の運用、イベント・セミナーの情報提供などを行っている一般社団法人です。

「しまね縁結びサポートセンター」について「知っている・聞いたことがある」人は、全体では28%であり、実際に利用経験がある人は2.5%となっている。

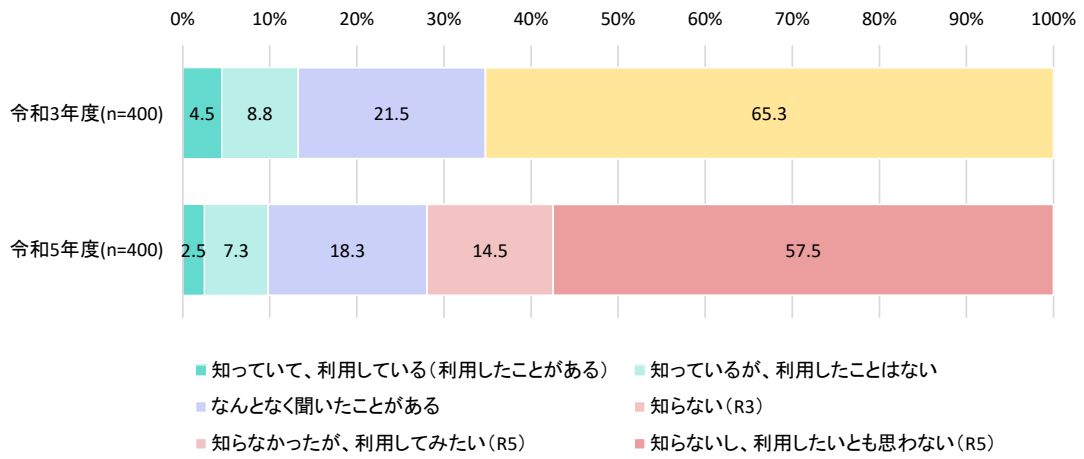
男女別で見ると、女性の方が認知度は高いが、実際に利用経験がある人は男性の方が多くなっている。

年代別で見ると、実際に利用したことがある人の割合は男性20代で高く、認知度は男性20代と女性40代で高くなっている。男性30代は認知度が低いものの、「知らなかったが利用してみたい」の割合が高くなっている。



令和3年度の調査結果と比較すると、利用経験、認知度ともに低くなっている。

【過去の調査結果との比較】



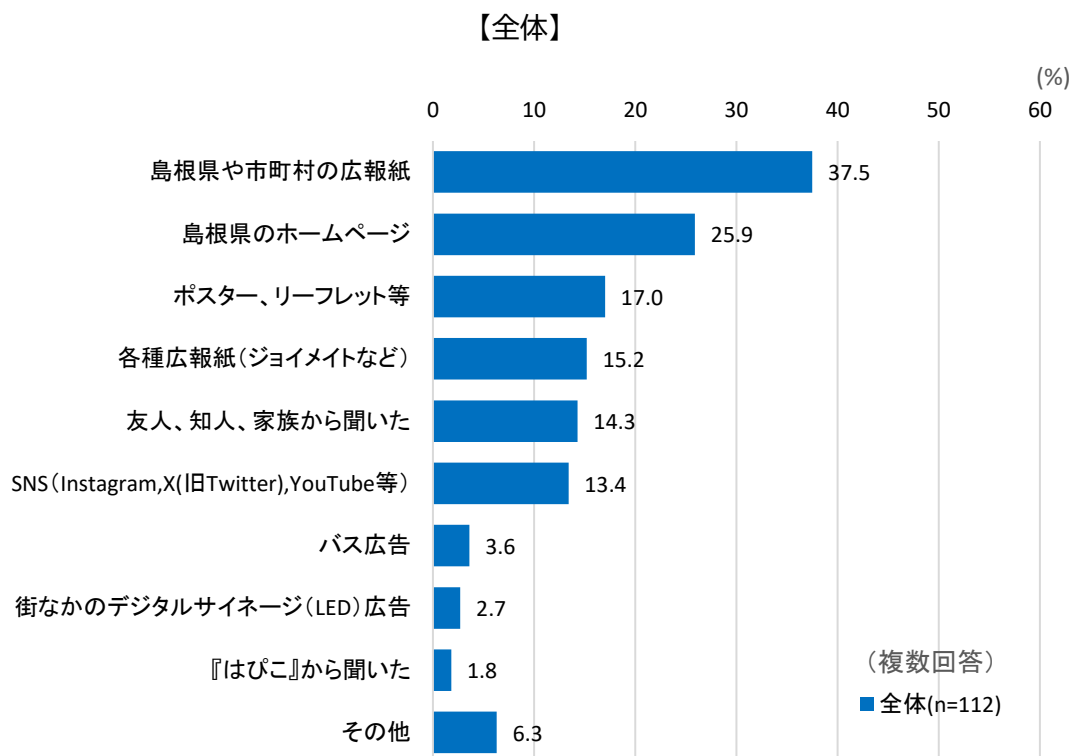
「しまね縁結びサポートセンター」を「知っていて、利用している(利用したことがある)」「知っているが、利用したことはない」「なんとなく聞いたことがある」とお答えの方にお伺いします。

「しまね縁結びサポートセンター」を何で知りましたか。(いくつでも)

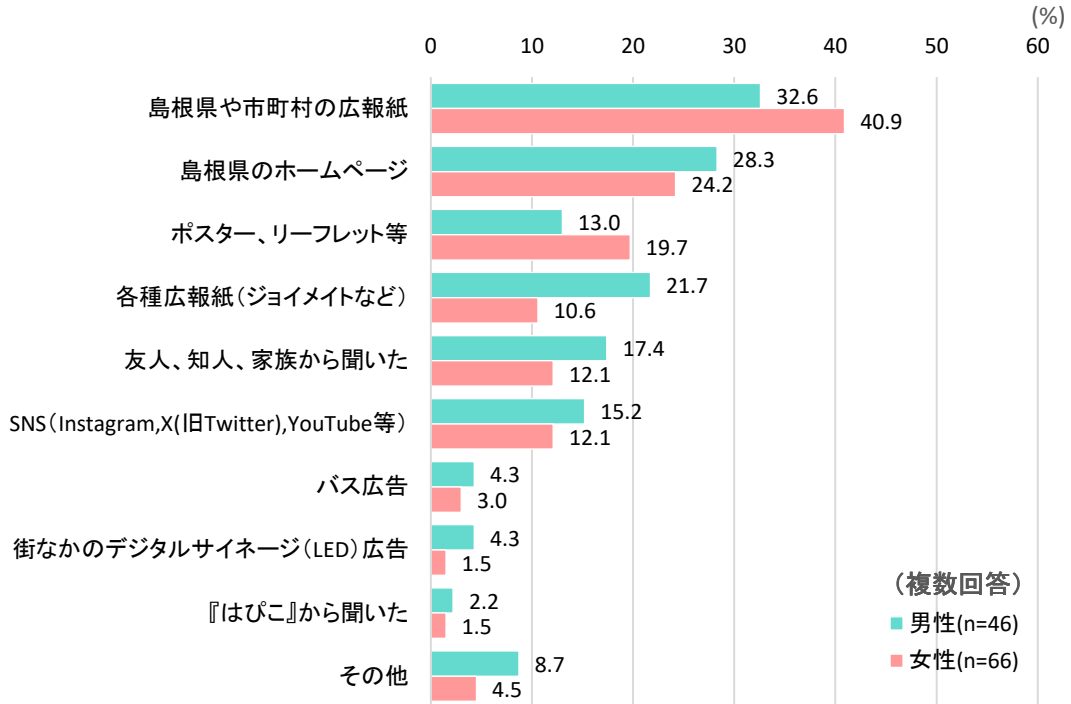
「しまね縁結びサポートセンター」を何で知ったか聞いたところ、全体では「島根県や市町村の広報紙」が 37.5%で最も多く、次いで多いのは「島根県のホームページ」で 25.9%となっている。

男女別で見ると、「島根県や市町村の広報紙」と回答した人の割合は女性の方が男性よりも約8ポイント高くなっている。一方、「各種広報紙(ジョイメイトなど)」と回答した人の割合は男性の方が女性よりも約11ポイント高くなっている。

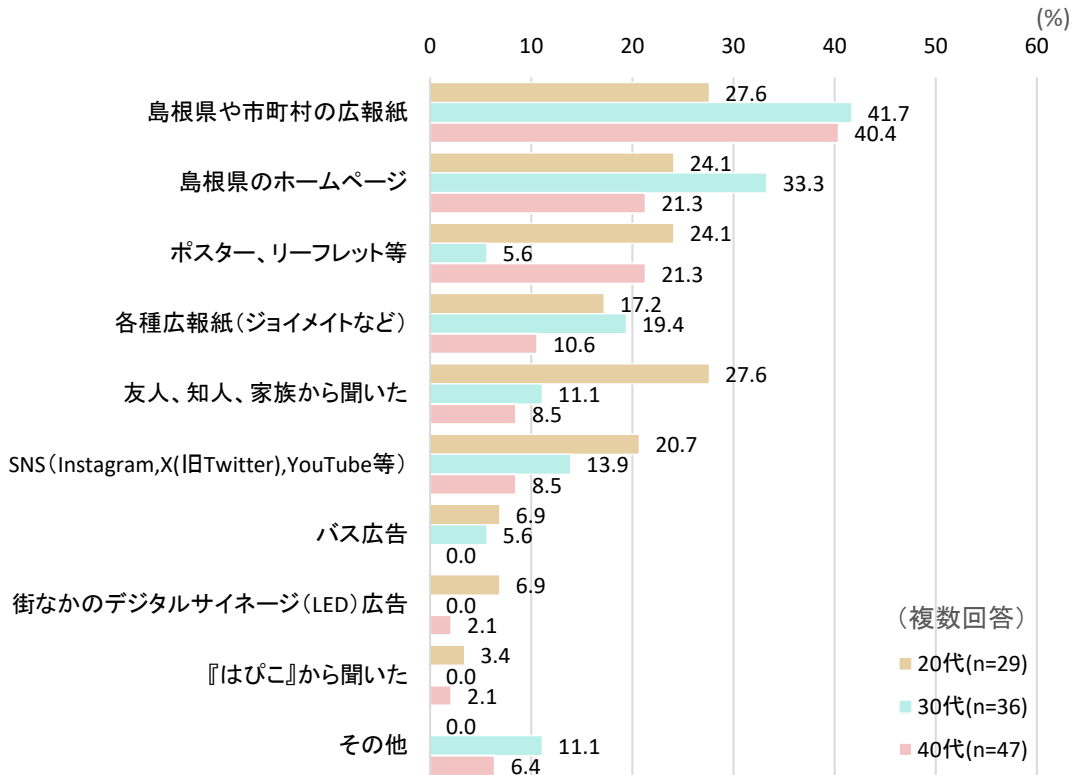
年代別で見ると、20代では「友人・知人・家族」と「SNS」が、30代では「島根県や市町村の広報紙」と「島根県のホームページ」が、40代では「島根県や市町村のホームページ」の割合がそれぞれ高くなっている。



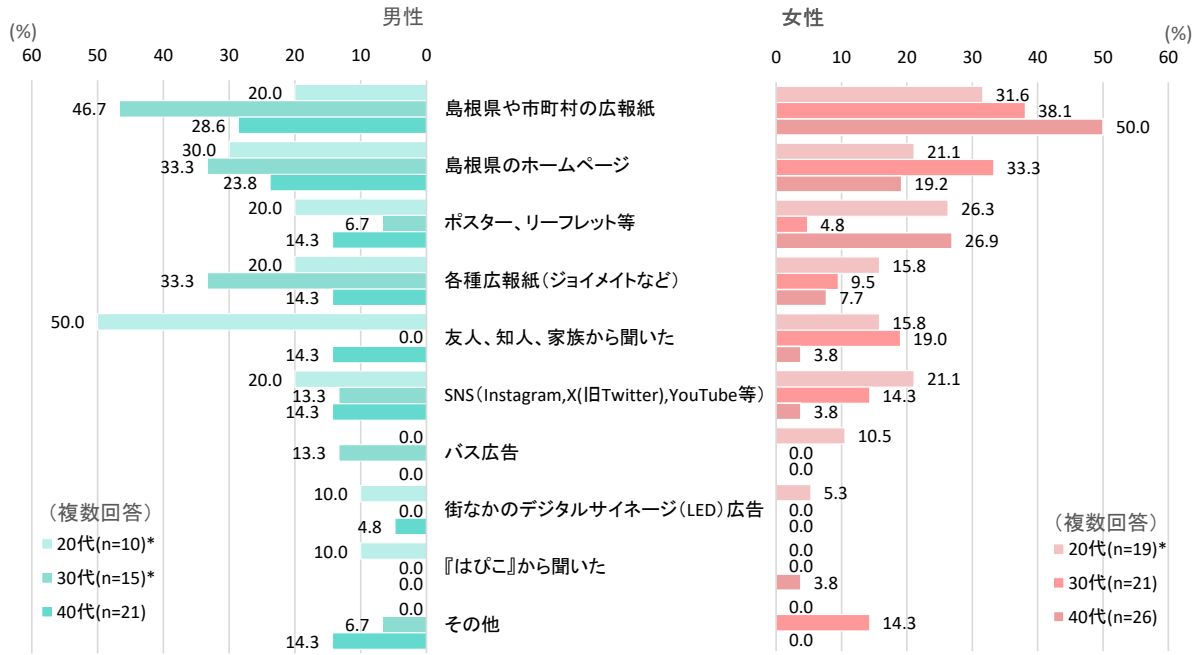
【性別】



【年代別】



【性年代別】

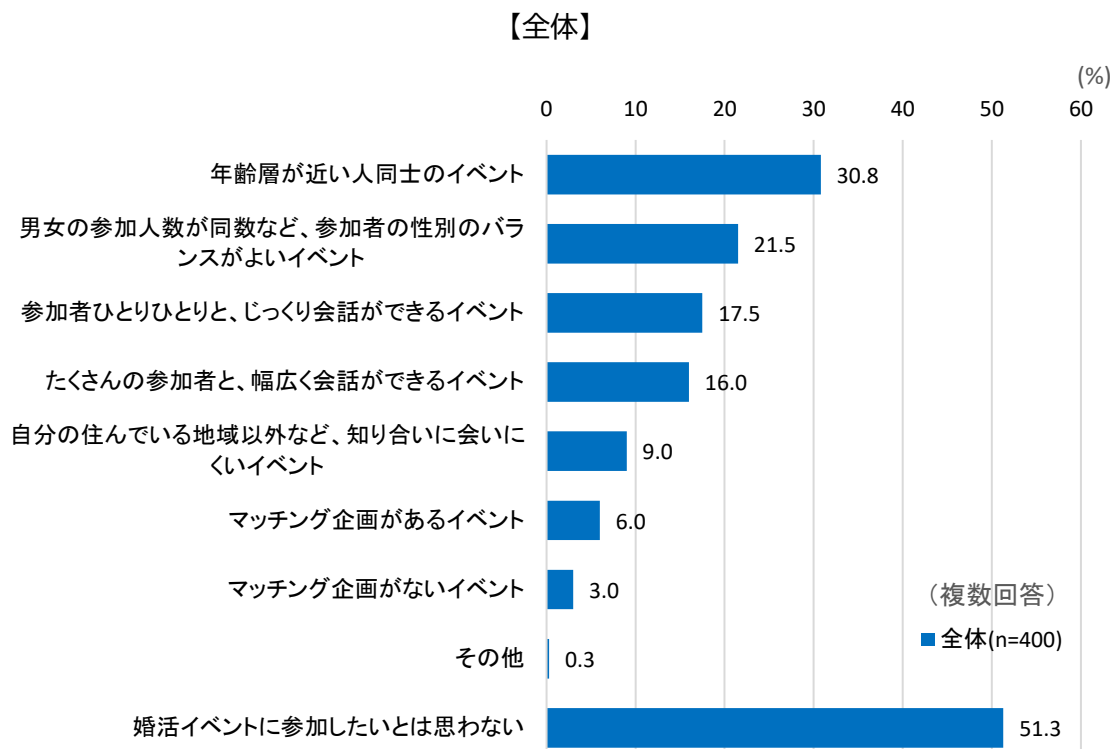


あなたが婚活イベントに参加するとしたら、次のうちどのようなイベントに参加したいですか。
あてはまるものを3つまでお選びください。

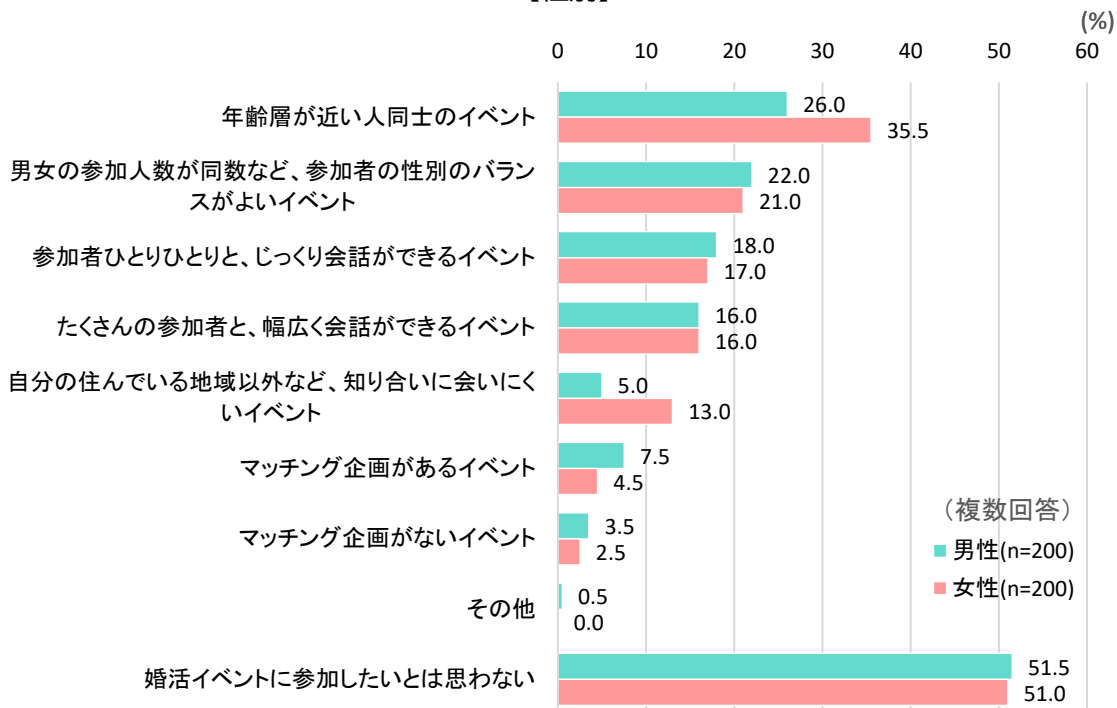
どのような婚活イベントに参加したいかを聞いたところ、全体では「年齢層が近い人同士のイベント」が30.8%で最も高く、次いで「参加者の性別のバランスがよいイベント」21.5%、「参加者ひとりひとりと、じっくり会話ができるイベント」17.5%、「たくさんに参加者と幅広く会話ができるイベント」16.0%と続いている。一方、「婚活イベントに参加したいとは思わない」と回答した人は約半数の51.2%となっている。

男女別で見ると、「年齢層が近い人同士のイベント」、「自分の住んでいる地域以外など、知り合いに会いにくいイベント」では女性が男性よりも高くなっている。

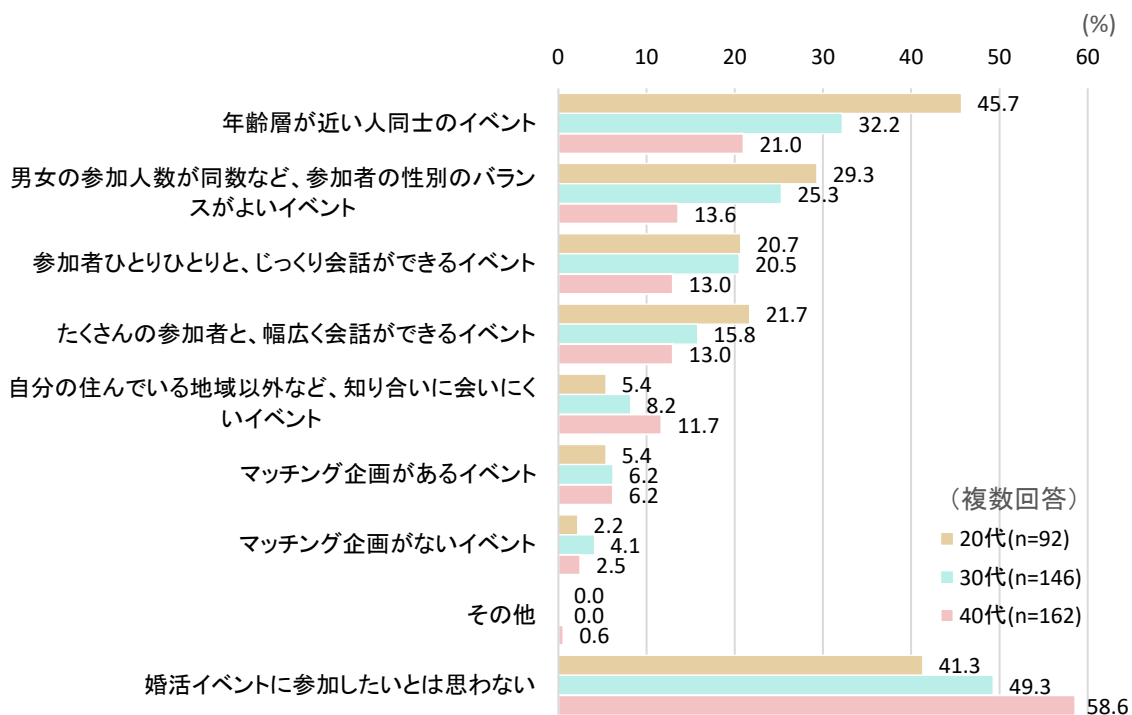
年代別で見ると、20代、30代と比べて40代は全般的に割合が低く、その分「婚活イベントに参加したいとは思わない」の割合が高くなっている。



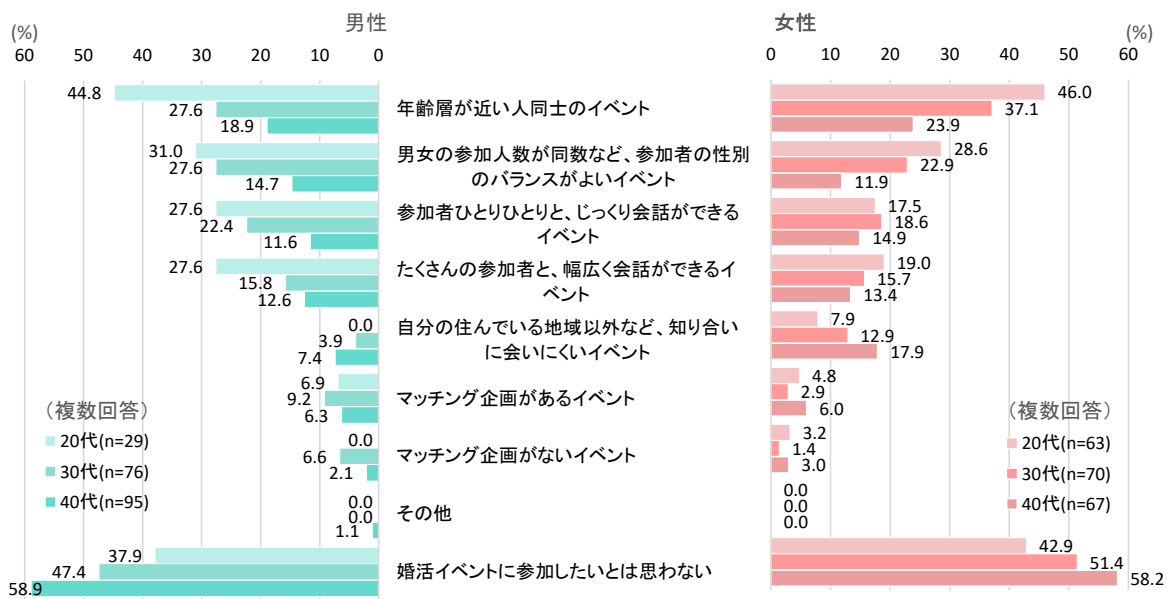
【性別】



【年代別】



【性年代別】



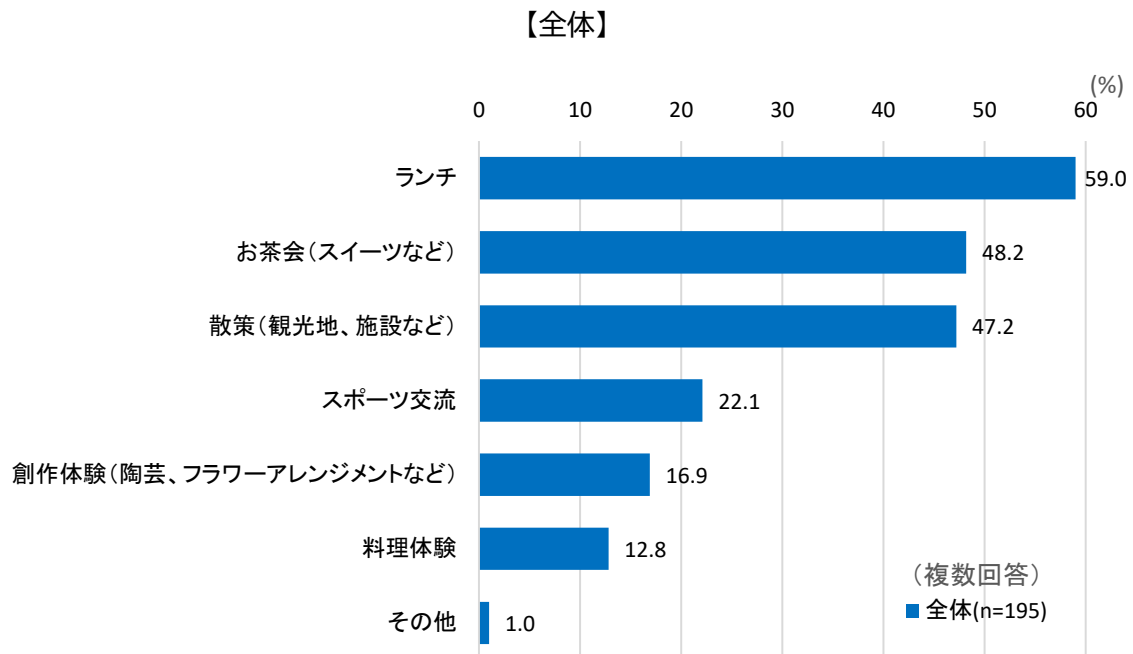
「婚活イベントに参加したいとは思わない」以外を選択した方にお伺いします。

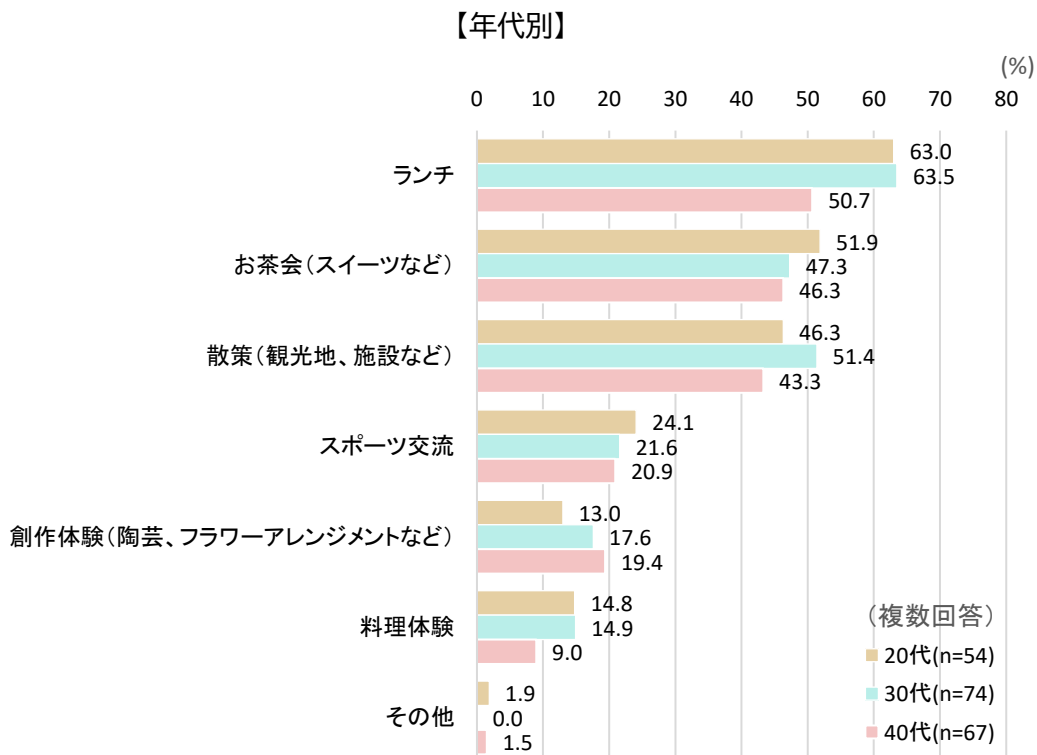
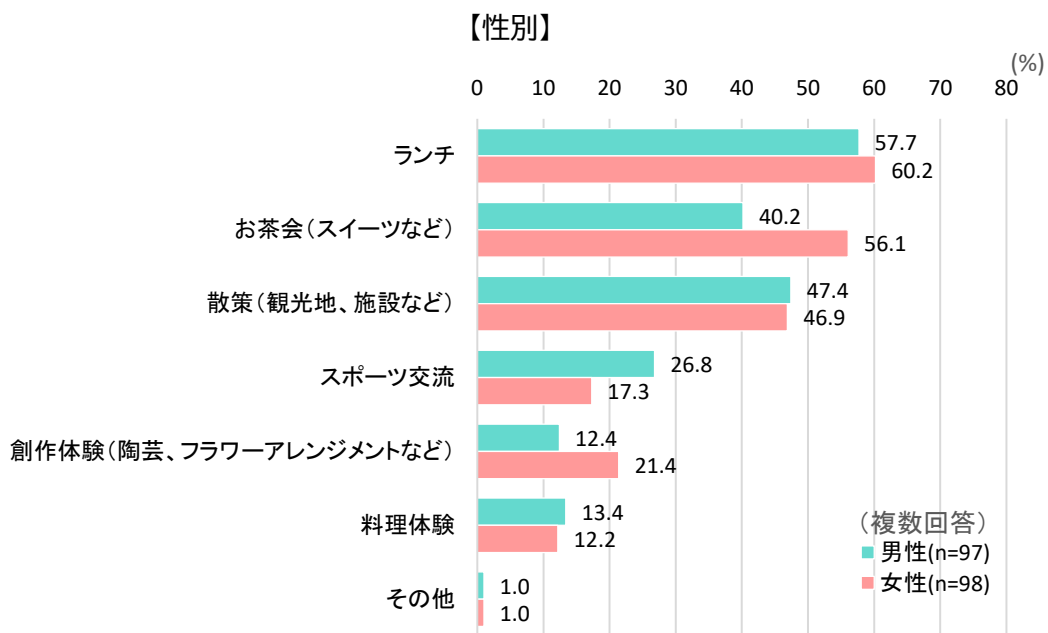
あなたは次のうちどのような内容のイベントに参加してみたいですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

「婚活イベントに参加したいとは思わない」以外を選択した方に参加してみたいイベントの内容を聞いたところ、全体では「ランチ」が59%で最も多く、次いで「お茶会(スイーツなど)」が48.2%、「散策(観光地、施設など)」が47.2%となっている。

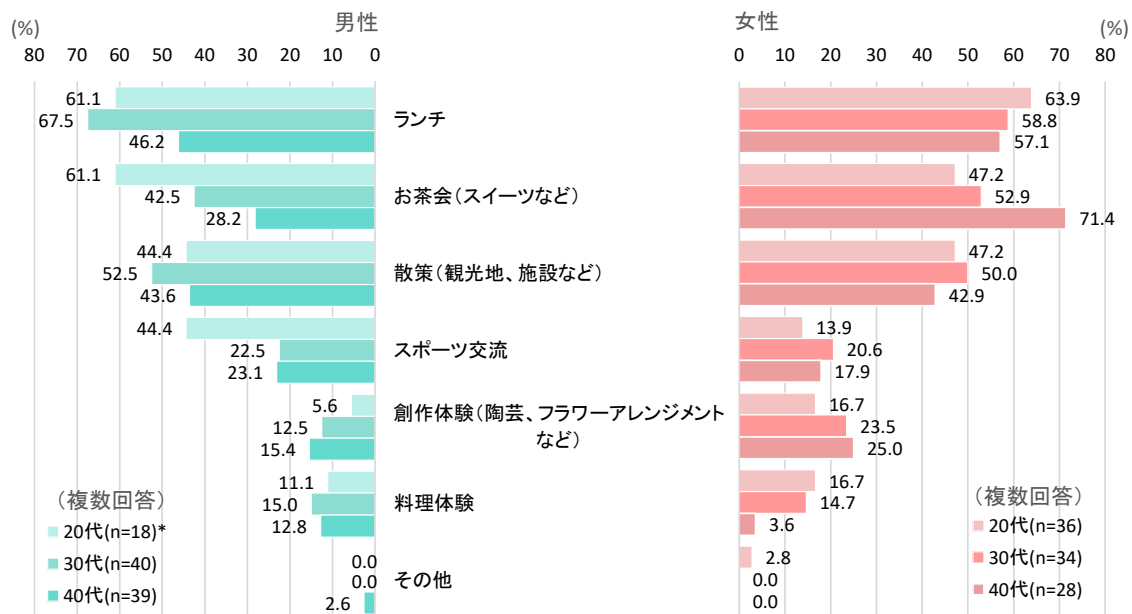
男女別で見ると、「お茶会(スイーツなど)」、「創作体験(陶芸、フラワーアレンジメントなど)」は女性の方が男性よりも高く、「スポーツ交流」は男性の方が女性よりも高くなっている。

年代別では特に大きな傾向は見られない。





【性年代別】



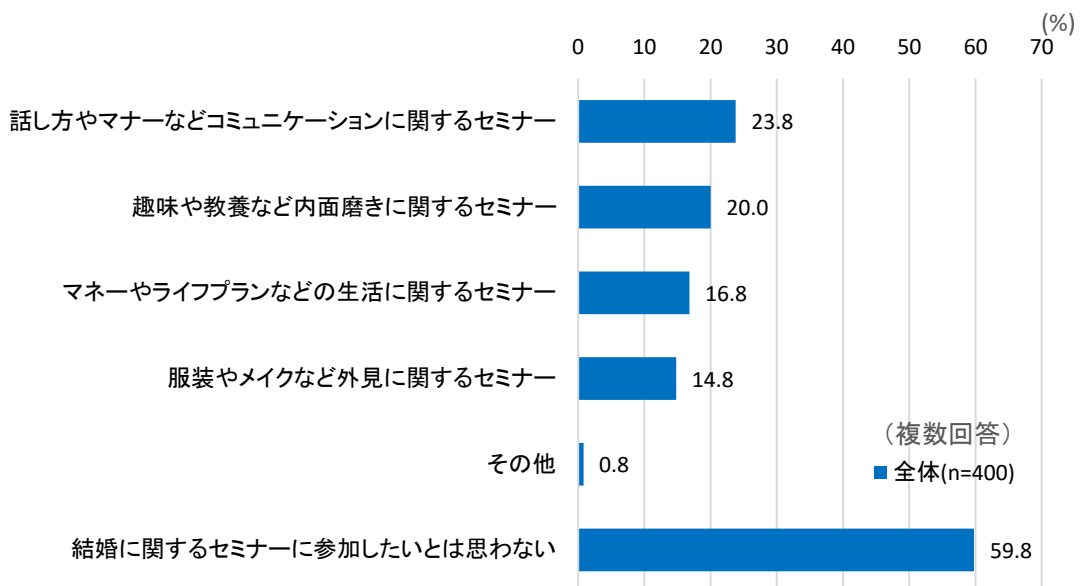
あなたが結婚に関するセミナーに参加するとしたら、どのような内容のものに参加したいですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

どのようなセミナーに参加したいかを聞いたところ、全体では「話し方やマナーなどコミュニケーションに関するセミナー」が23.8%、「趣味や教養など内面磨きに関するセミナー」が20%、「マナーやライフプランなどの生活に関するセミナー」が16.8%、「服装やメイクなど外見に関するセミナー」が14.8%となっており、約6割(59.8%)の人は「セミナーに参加したいとは思わない」と回答している。

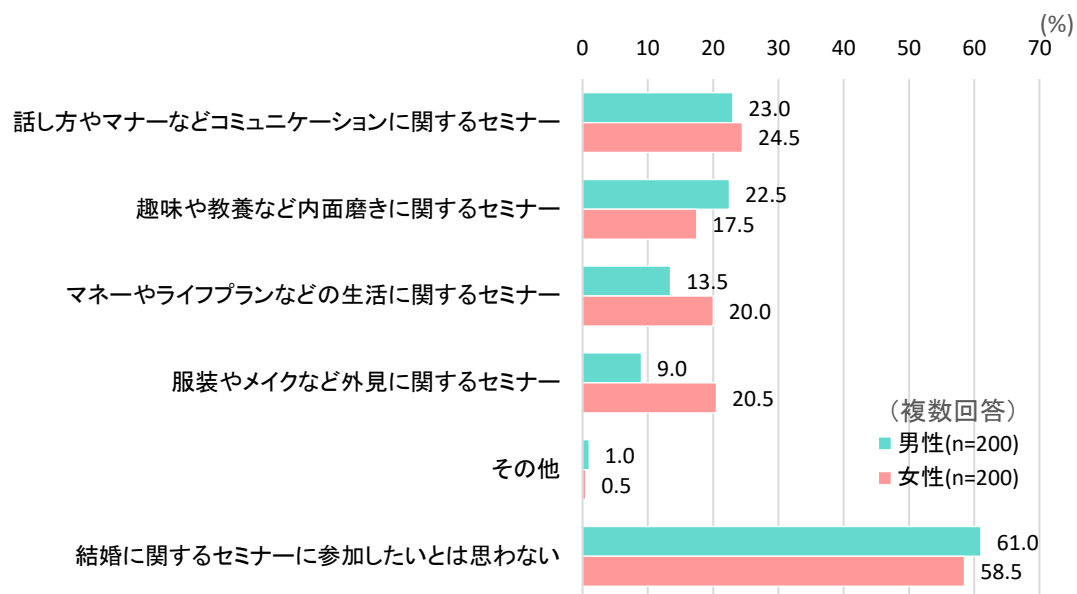
男女別で見ると、「趣味や教養など内面磨きに関するセミナー」は男性が高く、「マナーやライフプランなどの生活に関するセミナー」、「服装やメイクなど外見に関するセミナー」は女性が高くなっている。

年代別で見ると、20代では「服装やメイクなど外見に関するセミナー」が高く、30代、40代では「セミナーに参加したいとは思わない」の割合が高くなっている。

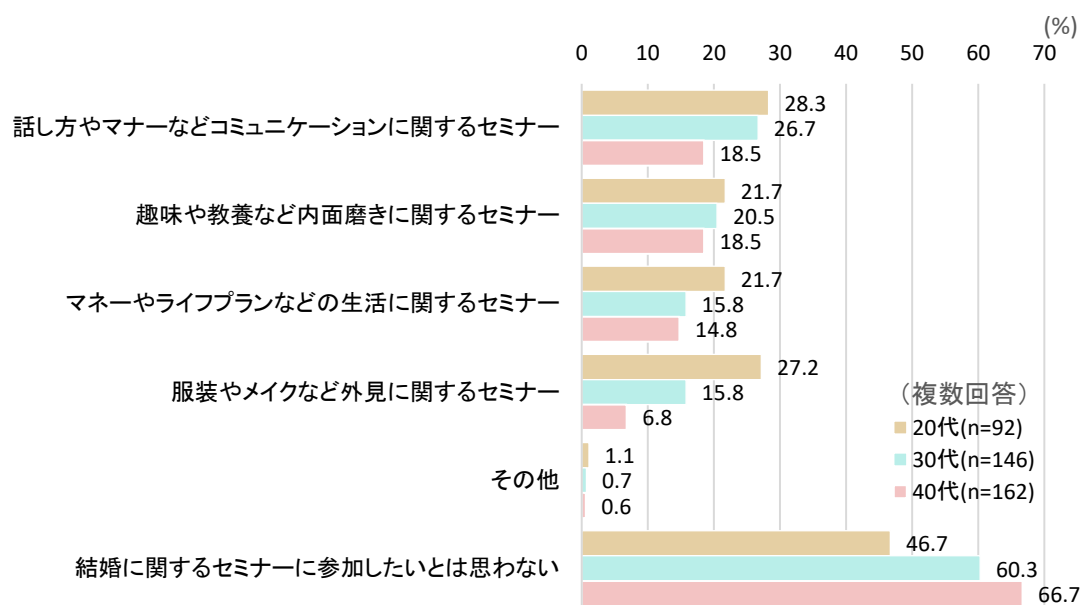
【全体】



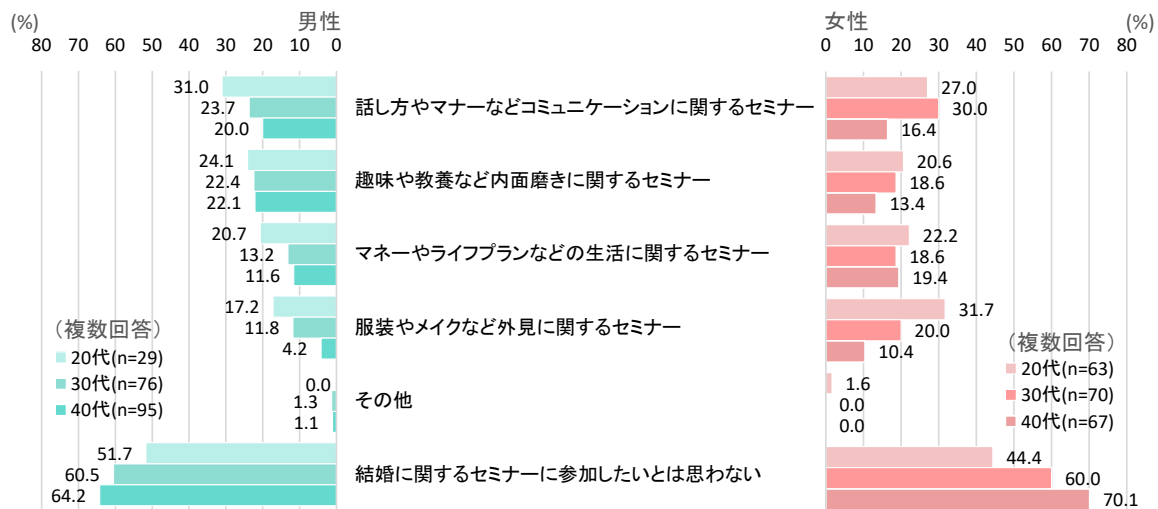
【性別】



【年代別】



【性年代別】



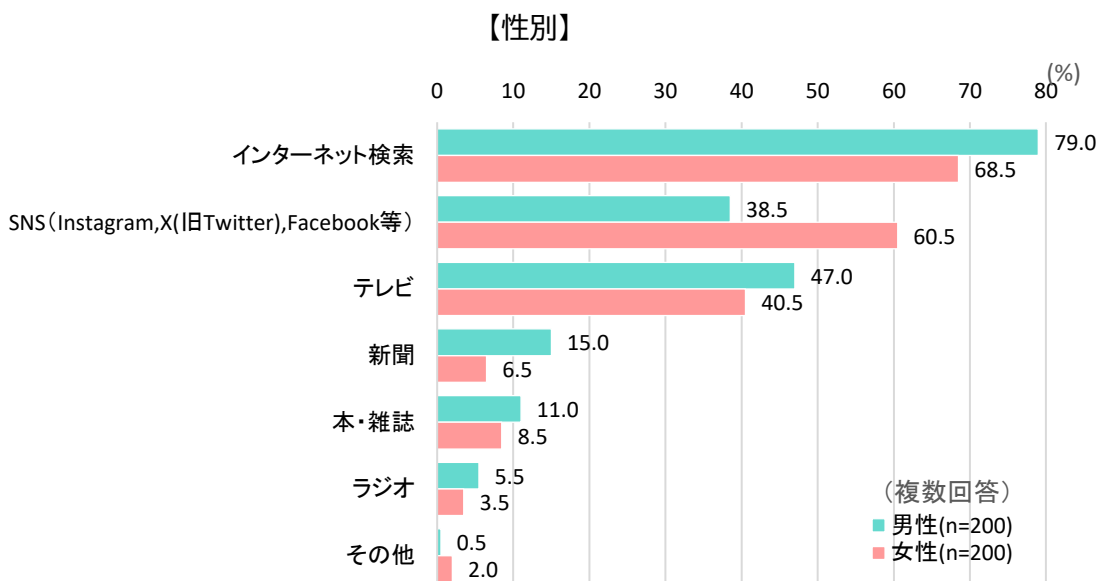
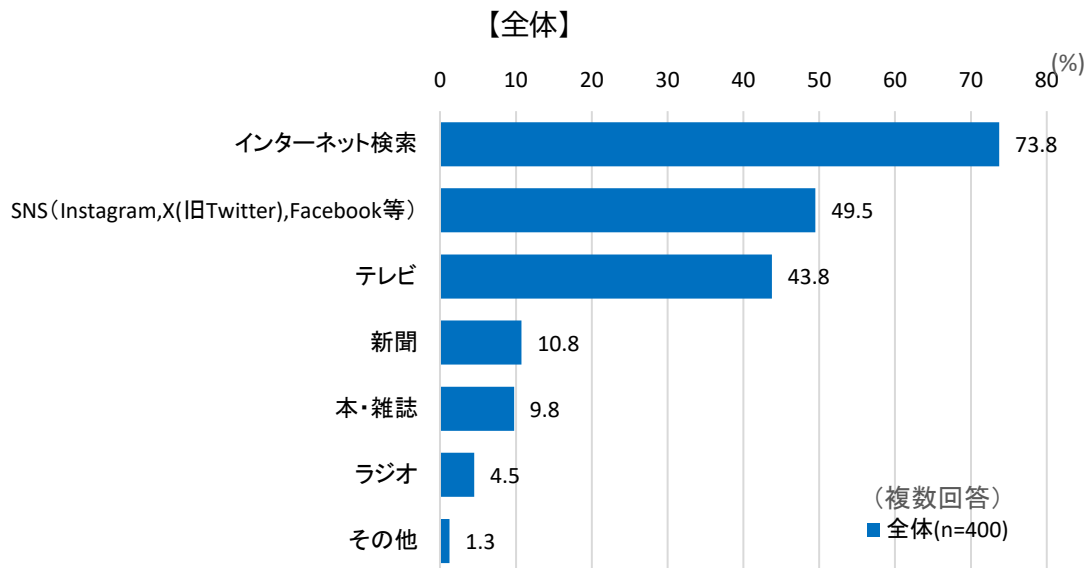
(6)日常生活での情報の入手方法について

あなたは普段知りたい情報がある時、どこから情報を入手していますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

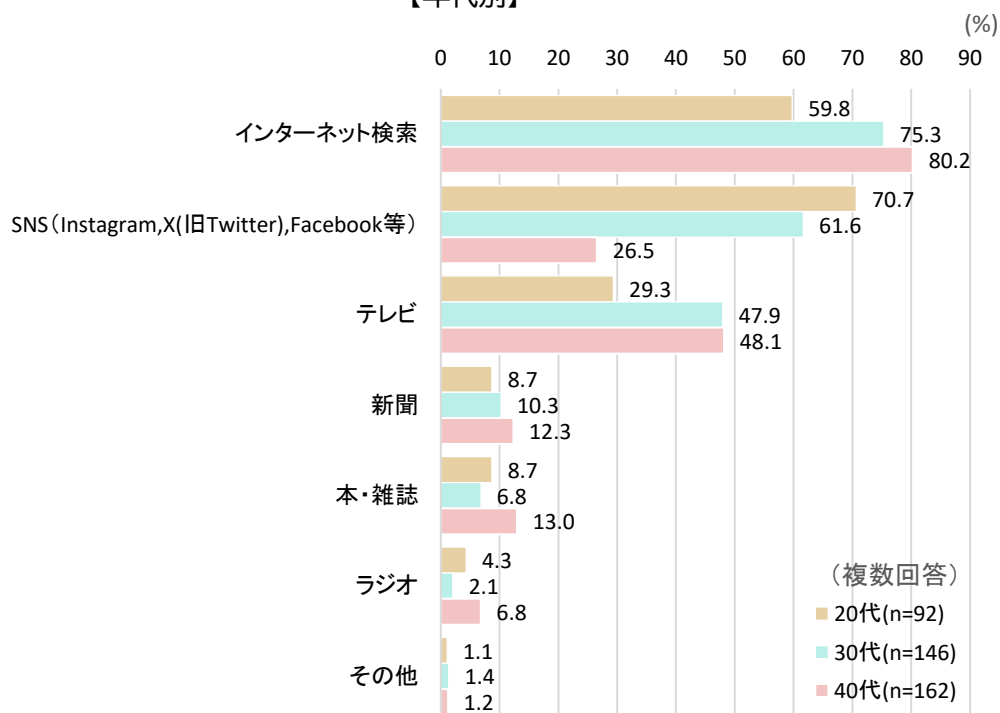
日常生活での情報の入手方法を聞いたところ、全体では「インターネット検索」が73.8%と最も多く、次いで「SNS」が48.2%、「テレビ」が43.8%となっている。

男女別で見ると、「インターネット検索」、「テレビ」、「新聞」は男性が高く、「SNS」は女性が高くなっている。

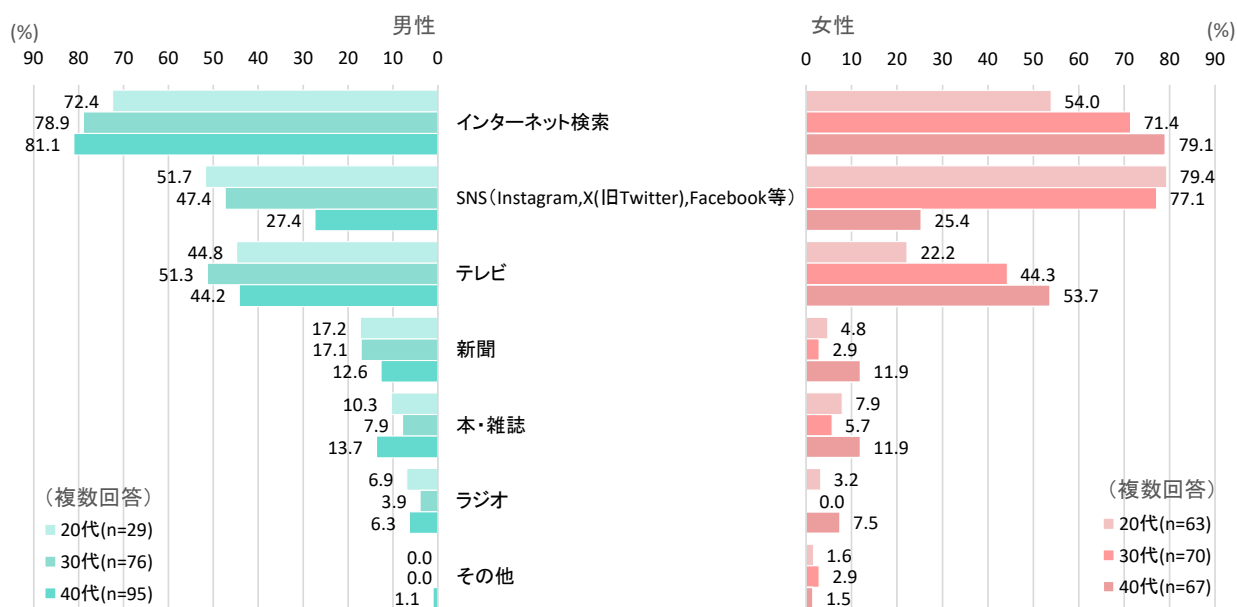
年代別で見ると、40代は「SNS」の割合が、20代は「テレビ」の割合が他の年代よりも低くなっている。



【年代別】



【性年代別】



「SNS」を選択した方にお伺いします。

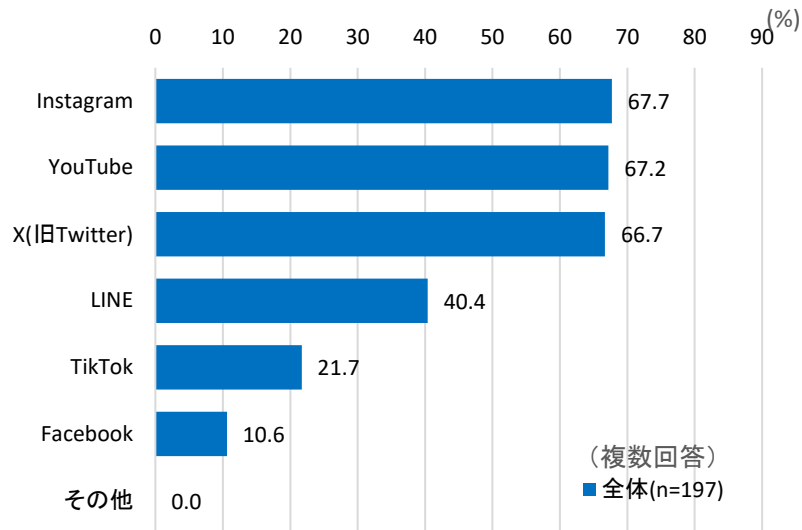
あなたはどの SNS から情報を入手していますか。(いくつでも)

情報入手方法として「SNS」を選択した方に、利用している具体的なサービスを聞いたところ、全体では「Instagram」、「YouTube」、「X(旧 Twitter)」がそれぞれ約 67%となっており、回答者の 3 分の 2 はこれらのサービスを利用している。

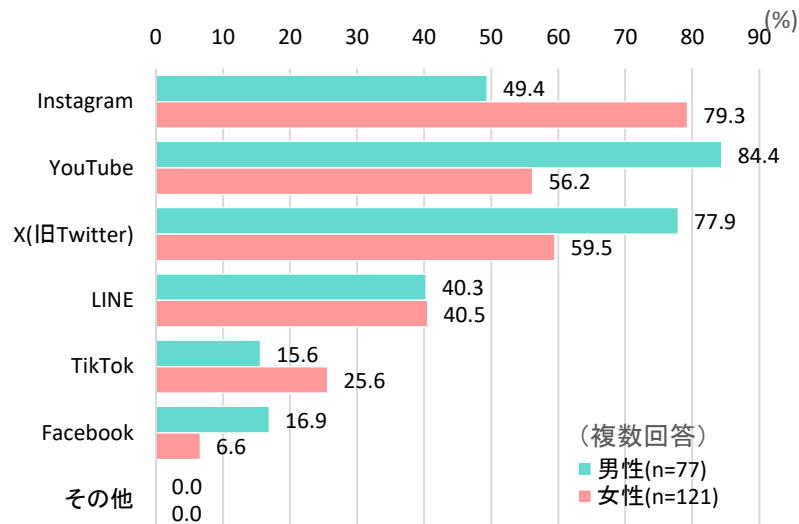
男女別で見ると、男性では「YouTube」、「X(旧 Twitter)」、「Facebook」が高く、女性は「Instagram」が高くなっている。

年代別に見ると、「Instagram」は年代が高くなるにつれて低くなり、「Facebook」は年代が高くなるにつれて高くなっている。特に「Facebook」は40代の男性で高くなっている。また、20代は男女ともに「TikTok」の割合が高くなっている。

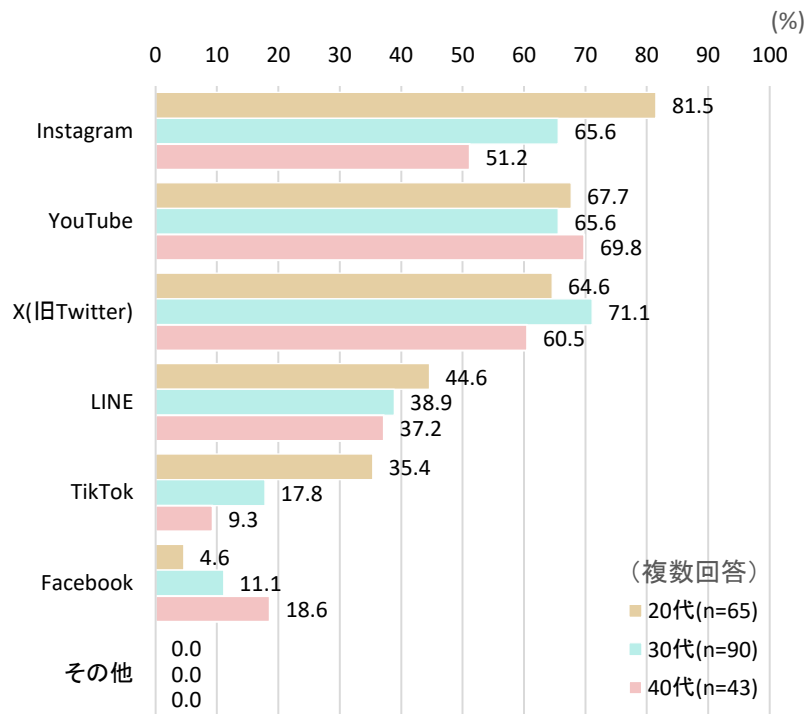
【全体】



【性別】



【年代別】



【性年代別】

